



平成21年

消防年報

SATSUMASENDAICITY FIRE DEPARTMENT

【平成22年刊行】

SATSUMASENDAI CITY
FIREFIGHTING ANNUAL REPORT 2009





薩摩川内市民憲章

美しい自然と 古い歴史を誇りとする
わたしたち薩摩川内市民は
やさしくすれば 心はかよう
はなしをすれば だれでもわかる
考えさえすれば みちはひらける
やりさえすれば かならずできる
という信条をもって
明るく豊かなまちをつくります



市木 クロガネモチ



市花 カノコユリ



市鳥 メジロ



市魚（川） アユ



市魚（海） キビナゴ

は し が き

この年報は、薩摩川内市消防局の現勢と平成21年度中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考とするとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関係のある事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

平成22年7月

薩摩川内市消防局

目 次

I 総 括

- 1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢 1
- 2. 消防本部・署の沿革 2

II 総 務

- 1. 薩摩川内市消防局の組織 4
- 2. 消防本部・署の事務分掌 5
- 3. 消防庁舎の概要 9
- 4. 消防大学校、県消防学校等入校状況 10
- 5. 職員の階級別年齢状況 11
- 6. 職員の勤続年数状況 12
- 7. 職員の配置状況 13
- 8. 薩摩川内市消防局相互応援協定 14
- 9. 予算の比較 15
- 10. 消防費と人口の比較 15
- 11. 消防費の内訳 15
- 12. 薩摩川内市消防局（常備）消防分布図 16
- 13. 消防職員特殊技能その他資格取得状況 18

III 予 防

- 1. 防火対象物現況 19
- 2. 建築同意事務処理状況 20
- 3. 防火対象物定期点検報告制度実施状況 21
- 4. 中高層建築物一覧表 21
- 5. 諸届出書の処理状況 22
- 6. 予防査察実施状況 23
- 7. 地域別危険物施設現況 24
- 8. 危険物施設の数量及び類別状況 25
- 9. 危険物施設の許可等処理状況 26
- 10. 危険物施設の立入検査実施状況 27

IV 警 防

- 1. 地域別火災発生状況 28
- 2. 月別火災発生状況 29
- 3. 時間別火災発生状況 30
- 4. 原因別火災発生状況 30
- 5. 火災発生件数の推移 31
- 6. 損害見積額の推移 31

7. 消防水利状況	32
8. 消防車両等の概要	33
9. 救急資器材の装備状況	35
10. 特殊機材の装備状況	36
11. 潜水資機材の装備状況	38
12. 通信系統図	39
13. 無線配置状況	40
14. 無線設備分布図	43
15. 薩摩川内市消防局消防気象（本庁屋上）	46

V 救急及び救助

1. 地域別救急出場状況	47
2. 月別救急出場状況	47
3. 診療科目別搬送状況	48
4. 年齢区分別搬送人員	49
5. 時間別出場状況	50
6. 曜日・月別出場状況	50
7. 救急隊員の行なった応急処置状況（搬送者のうち）	51
8. 不搬送原因別出場件数	51
9. 救急件数の推移	52
10. 搬送人員の推移	52
11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況	53
12. CPA 患者社会復帰状況	53
13. 事故種別救助活動状況	54
14. 事故種別出場及び活動車両状況	54

VI 消防団及び消防協力団体

1. 薩摩川内市消防団の組織	55
2. 消防団員定数及び実員	56
3. 消防団員の年齢	56
4. 方面隊別団員数	56
5. 消防団員の勤続年数	56
6. 消防団車両の概要	57
7. 小型ポンプの概要	60
8. その他、消防行政協力団体	63
9. 特殊施設	65

付 録

1. 消防本部・署の沿革（川内市消防本部）	68
消防本部・署の沿革（川内地区消防組合）	69

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢

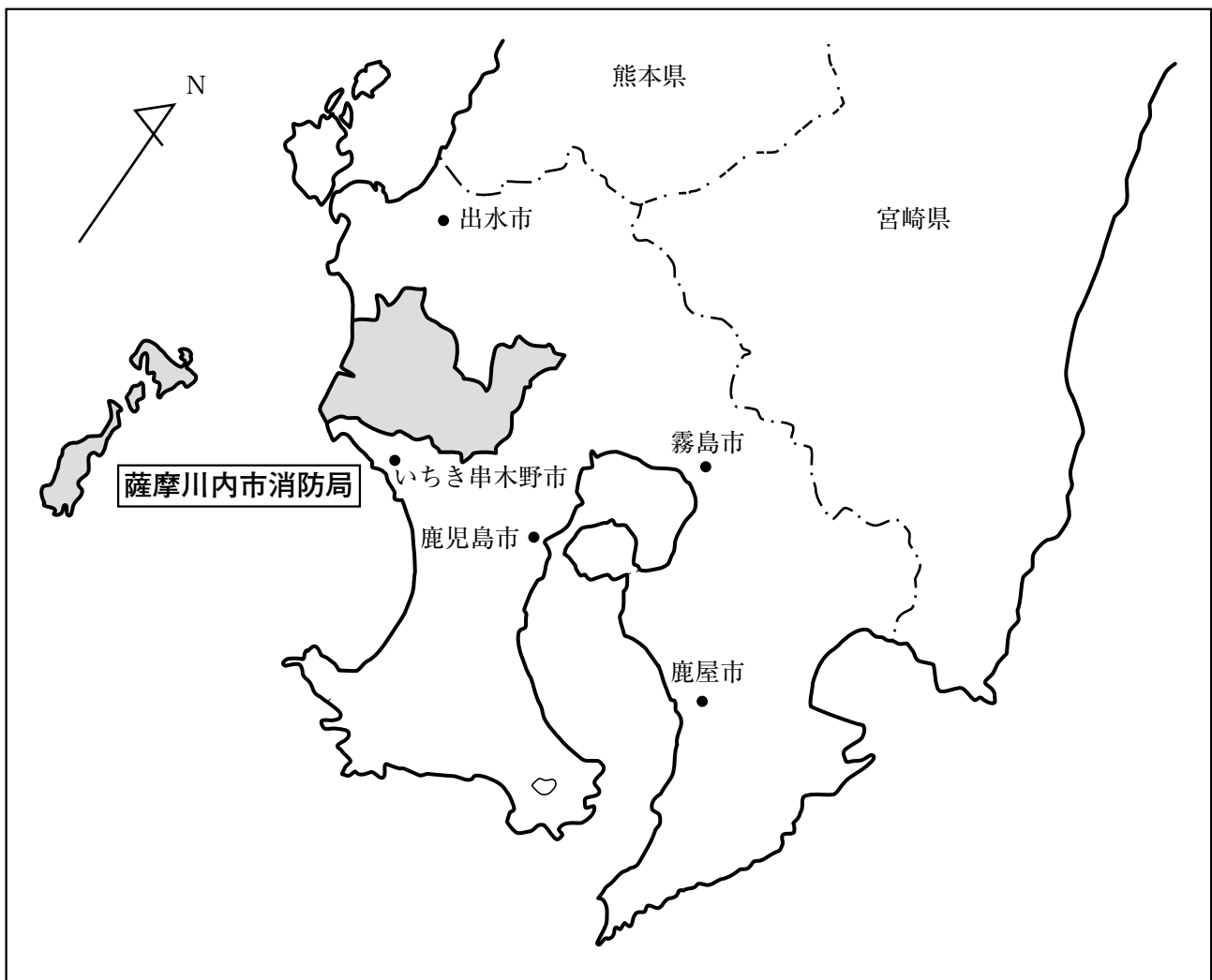
薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甕島、中甕島、下甕島で構成される甕島区域で構成されています。

東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甕島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しています。

本市が有するこれらの多彩で美しい自然環境は、川内川流域県立自然公園、蘭牟田池県立自然公園、甕島県立自然公園に指定され、人々に親しまれています。

この広域に及ぶ当局管内面積は県内では最大の 683.50 km²である。

消防本部の位置 東経 130° 18′
北緯 31° 49′



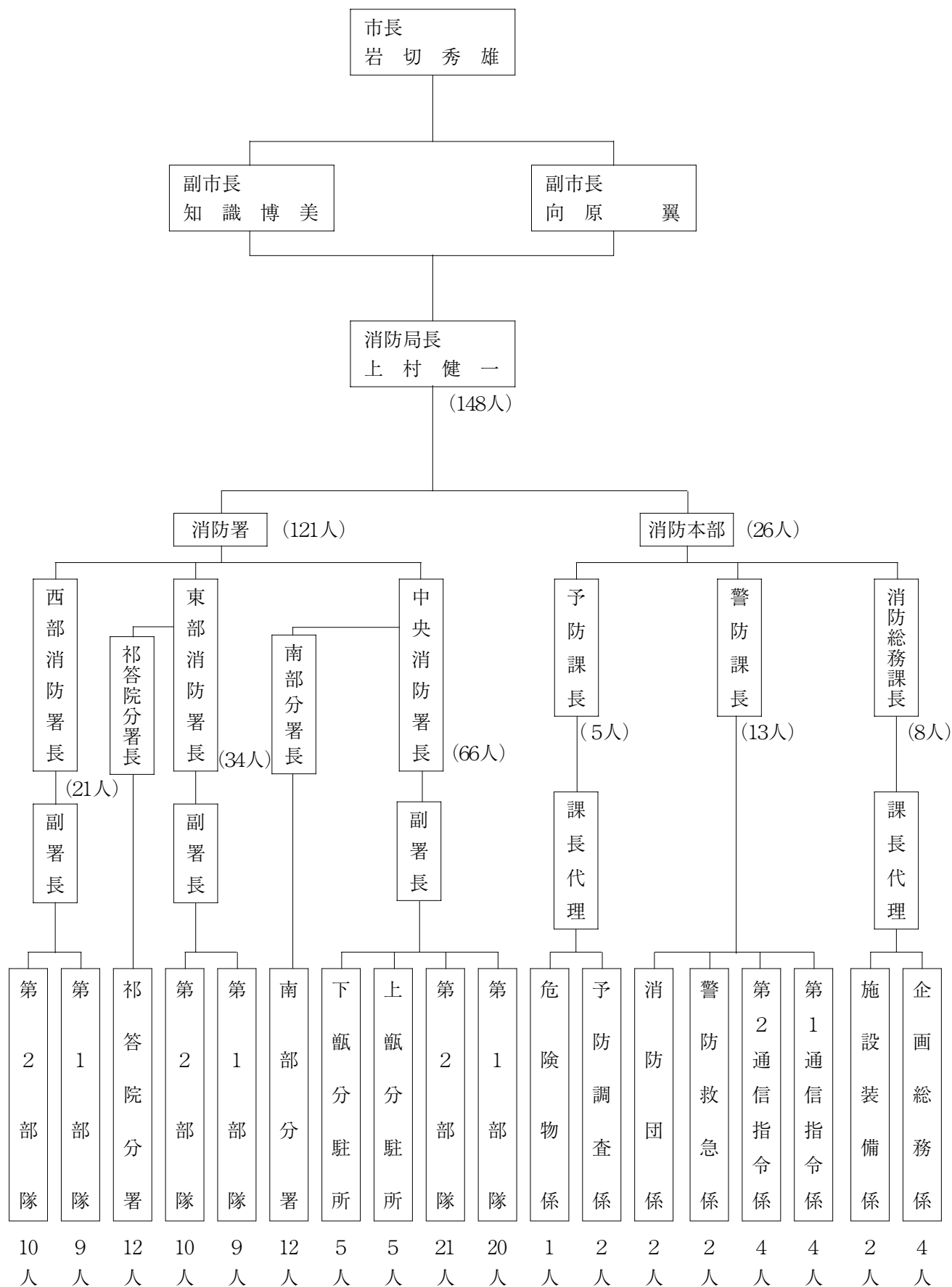
2. 消防本部・署の沿革

年	月	概	要
平成16年	10月12日	薩摩川内市が誕生し、薩摩川内市消防局発足	
	10月12日	伊豫田輝雄初代消防局長に就任	
	10月12日	東部消防署祁答院分署運用開始	
	11月17日	救急救命士 17 人となる	
平成17年	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から携帯用無線機 15 式、空気呼吸器 1 式、空気呼吸器用ボンベ 10 本の貸与を受ける	
	5 月 9 日	救急救命士 18 人となる	
	6 月 9 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加（静岡県静岡市清水区）～ 12 日	
	10月 1 日	西部消防署高規格救急車等による高度救急業務を開始	
	11月 4 日	東部消防署祁答院分署新庁舎落成式挙行（薩摩川内市祁答院町下手 43 番地 1 号）	
	11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（沖縄県うるま市）～ 24 日	
	11月24日	救急救命士 19 人となる	
平成18年	1 月15日	伊豫田消防局長退任	
	1 月16日	桑原道男第 2 代消防局長に就任	
	2 月21日	アステラス製薬株式会社より救急自動車（2 B）の寄贈を受ける	
	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 6 式、空気呼吸器用ボンベ 10 本、空気呼吸器用面体 40 基の貸与を受ける	
	5 月22日	救急救命士 21 人となる	
	6 月 1 日	「住宅用火災報知器」の設置が義務づけられる	
	7 月22日～23日	鹿児島県北部豪雨災害 消防職員・消防団員 延 1,252 名出場	
	10月20日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（北九州市）～ 21 日	
	12月 7 日	総務省消防庁主催「第 9 回全国消防広報コンクール」広報紙部門優秀賞受賞	
平成19年	1 月23日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練	
	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 6 式、空気呼吸器面体 40 個、空気呼吸器用ボンベ 10 本、液晶プロジェクター 1 台、防護マスクフィルター 532 個の貸与を受ける	
	5 月14日	救急救命士 24 人となる	
	5 月16日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練	
	10月12日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（大分県中津市）～ 13 日	
平成20年	1 月14日	桑原消防局長退任	
	1 月15日	上村健一第 3 代消防局長に就任	
	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器用ボンベ 10 本、空気呼吸器面体 10 個、エアータン 32 基、放射性廃棄物用ドラム缶 1 個、サーバイメーター用アルミ収納ケース 4 個、防護マスクフィルター 794 個、ポケット線量計 3 個の貸与を受ける	
	4 月28日	救急救命士 26 人となる	
	9 月12日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練	
	11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎県佐世保市）～ 22 日	
平成21年	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 6 式、空気呼吸器面体 30 個、空気呼吸器用ボンベ 10 本、エアータン 5 基、防護マスク 195 個、防護マスクフィルター 1000 個、防護服（アノラック型、タイベック型）50 着、液晶プロジェクター 1 台、DVD プレーヤー 5 台、液晶プロジェクターケース 1 個、ポケット線量計 20 個、携帯無線機用スピーカーマイク 15 個の貸与を受ける	

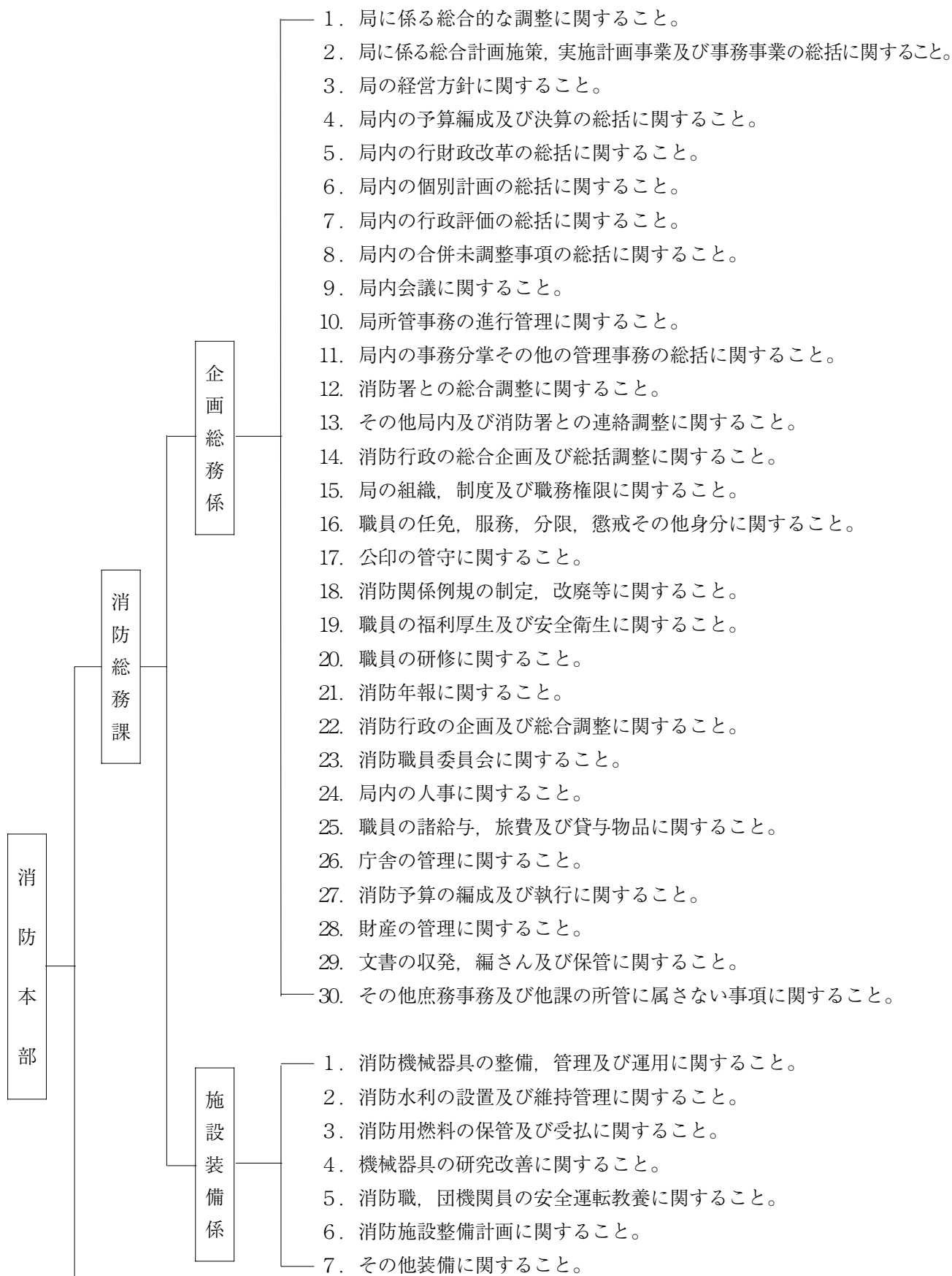
年	月	概	要
平成21年	4月14日	救急救命士 28 人となる	
	8月26日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練	
	10月9日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（佐賀県佐賀市）～ 10 日	
	11月16日	東部消防署高規格救急車を更新	
平成22年	2月15日	中央消防署下甕分駐所新庁舎運用開始	
	3月31日	中央消防署南部分署大型高所放水車を更新	
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 2 式, 空気呼吸器面体 30 個, 空気呼吸器用ボンベ 10 本, デジタルカメラ 1 台, 防護マスクフィルター 100 個の貸与を受ける	

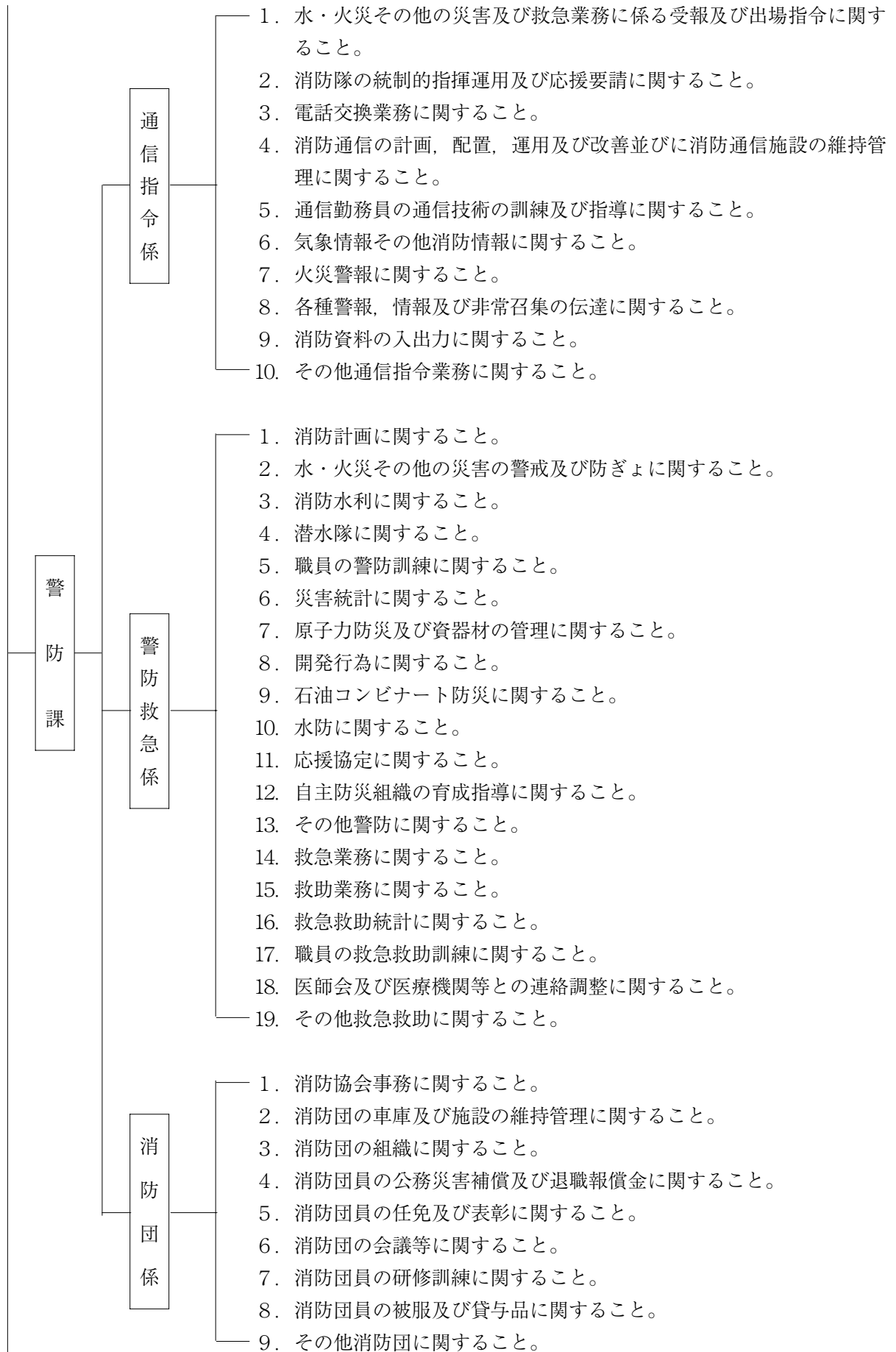
1. 薩摩川内市消防局の組織

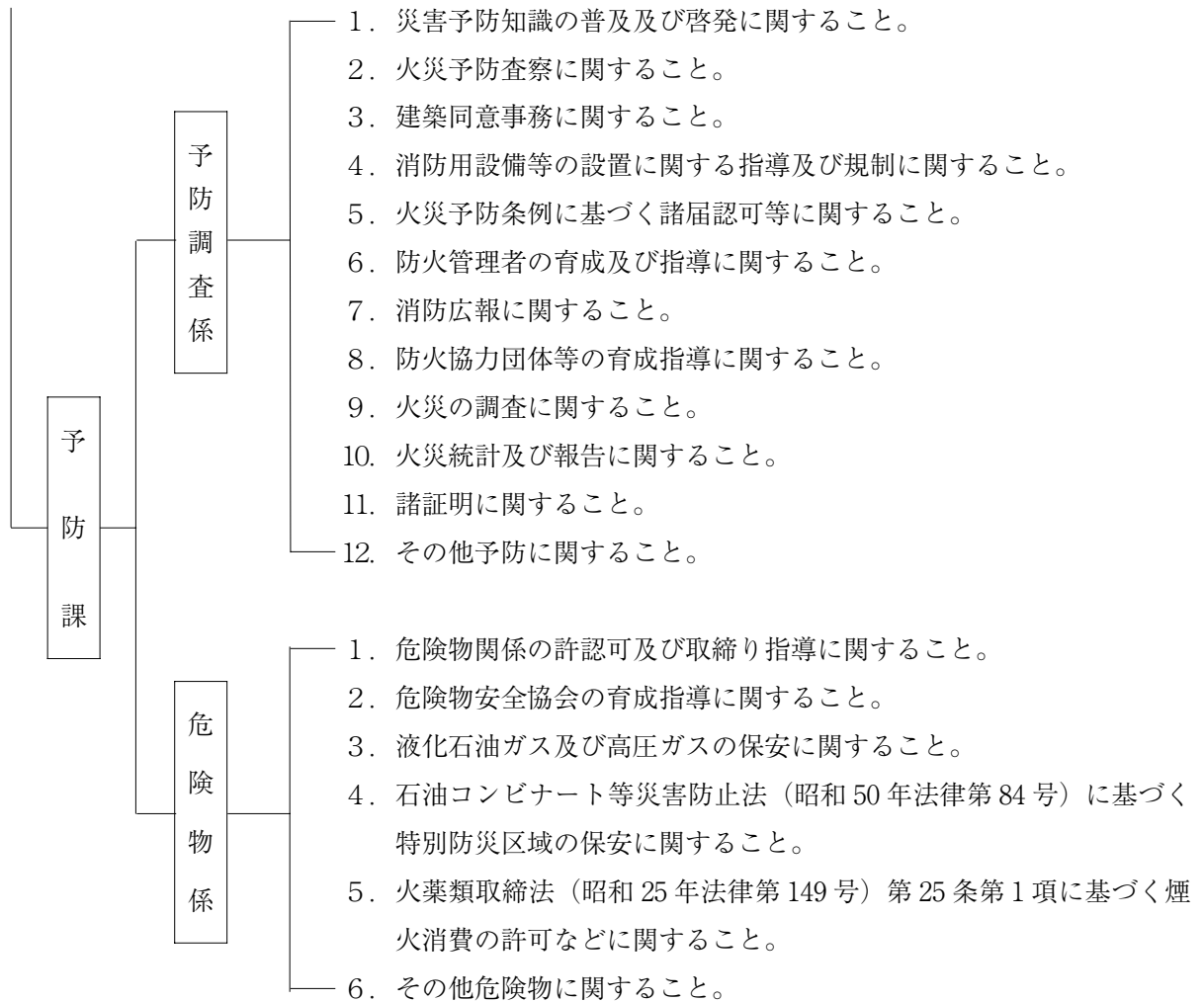
H 22. 4. 1 現在



2. 消防本部・署の事務分掌









3. 消防庁舎の概要

H 22. 4. 1 現在

区分 名称	所在地	敷地面積	構造	延面積	完成年月日	電話
消防局消防本部	薩摩川内市原田町 22 番 10 号	m ² 2,986	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部塔屋)	m ² ※ 1,471	※ S 53. 3.30	0996 22-0119
中央消防署						
南部分署	〃 若松町 8 番 20 号	565	鉄骨造 2 階 建	560	H 4. 3.26	0996 23-1360
上甕分駐所	〃 上甕町中甕 481 番地 1	140	鉄筋コンクリート 造 2 階 建	164	S 57. 2.24	09969 2-0377
上甕消防吏員 待機宿舎	〃 〃 490 番地 5	227	〃	124	S 57. 2.23	
上甕消防吏員 待機宿舎	〃 〃 728 番地	256	木造平屋	70	H 12. 3.10	
下甕分駐所	〃 下甕町長浜 913 番地 3	813	鉄筋コンクリート 造 平 屋 建	199	H 22. 2.15	09969 5-1057
下甕消防吏員 待機宿舎	〃 〃 1232 番地 4	333	鉄筋コンクリート 造 2 階 建	124	S 57. 2.24	
下甕消防吏員 待機宿舎	〃 〃 187 番地 2	205	木造平屋	70	H 12. 3.10	
東部消防署	〃 入来町浦之名 727 番地 2	5,008	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部 5 階)	543	S 58. 3.18	0996 44-3390
東部消防署 消毒室	〃 〃 727 番地 2	5,008	木造平屋	19	H 19.12. 7	
祁答院分署	〃 祁答院町下手 43 番地 1	1,378	鉄骨造 2 階 建	423	H 17.10.28	0996 21-8260
西部消防署	〃 水引町 3397 番地 2	3,004	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部塔屋)	835	S 59. 3.26	0996 26-3524
西部消防署 消毒室	〃 〃 3397 番地 2	3,004	木造平屋	17	H 22. 3. 9	

※ (S 62. 3.28. 261m²増築)

4. 消防大学校・県消防学校等入校状況

H 21. 4. 1 ～ H22. 3. 31

機 関 名	研 修 科 目	研 修 期 間	人 員 (人)
消 防 大 学 校	第 61 期救助科	平成 21 年 8 月 18 日～平成 21 年 10 月 14 日	1
	第 18 期火災調査科	平成 21 年 10 月 19 日～平成 21 年 12 月 11 日	1
救 急 救 命 九 州 研 修 所	平成 21 年度薬剤投与追加講習第 1 期	平成 21 年 4 月 10 日～平成 21 年 5 月 22 日	1
	第 26 期救急救命士研修	平成 21 年 9 月 8 日～平成 22 年 3 月 24 日	1
鹿 児 島 県 消 防 学 校	第 64 期初任科	平成 21 年 4 月 8 日～平成 21 年 9 月 16 日	3
	第 17 期初級幹部科	平成 21 年 6 月 29 日～平成 21 年 7 月 10 日	2
	第 5 期警防科	平成 21 年 10 月 19 日～平成 21 年 10 月 29 日	3
	第 5 期予防査察科	平成 21 年 12 月 1 日～平成 21 年 12 月 11 日	3
	第 13 期救急科	平成 22 年 1 月 12 日～平成 22 年 3 月 5 日	5
九州消防長会（福岡市）	九州地区警防実務研修会	平成 21 年 12 月 3 日～平成 21 年 12 月 18 日	1
鹿 児 島 県 消 防 長 会	合同消防実務研修	平成 21 年 10 月 22 日	3
川内地区安全運転管理協議会	安全運転管理者等の法定講習	平成 21 年 8 月 26 日	4
（財）九州電気保安協会	電気主任技術者実務講習会	平成 21 年 10 月 14 日	1
安 全 運 転 中 央 研 修 所	消防救急緊急自動車運転技能者課程	平成 22 年 2 月 22 日～平成 22 年 2 月 25 日	1
鹿 児 島 県 労 働 基 準 協 会	玉掛け技能講習	平成 22 年 3 月 23 日～平成 22 年 3 月 25 日	4
川内市医師会立市民病院	救急救命士気管挿管実習	平成 21 年 6 月 1 日～平成 21 年 7 月 14 日	1
		平成 21 年 10 月 13 日～平成 21 年 12 月 24 日	1

5. 職員の階級別年齢状況

H 22. 4. 1 現在 (単位：人)

年 齢	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他	総 数	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
18 歳							1		1	
19 歳										
20 歳							1		1	
21 歳							2		2	
22 歳							4		4	
23 歳							5		5	
24 歳						3	6		9	
25 歳						1	2		3	
26 歳						2			2	
27 歳						2	1		3	
28 歳					1	1			2	
29 歳					2				2	
30 歳					2	2			4	
31 歳					3	3			6	
32 歳					5	1		2	8	
33 歳					6	1			7	
34 歳					2				2	
35 歳					5				5	
36 歳					2				2	
37 歳					4				4	
38 歳					3				3	
39 歳					1				1	
40 歳					1				1	
41 歳					4				4	
42 歳				1	3			1	5	
43 歳				1	2				3	
44 歳				1	1				2	
45 歳				4	4				8	
46 歳			1	6	1				8	
47 歳			1						1	
48 歳			1	4	1				6	
49 歳				5	1				6	
50 歳			5	3					8	
51 歳			5	1					6	
52 歳			2						2	
53 歳										
54 歳			1	1					2	
55 歳			2						2	
56 歳	1		3						4	
57 歳			1						1	
58 歳		1		1					2	
59 歳			1						1	
合 計	1	1	23	28	54	16	22	3	148	
平 均 年 齢	56.0	58.0	52.1	47.4	37.0	28.1	22.9	35.3	38.4	

6. 職員の勤続年数状況

H 22. 4. 1 現在 (単位：人)

年 数	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他	総 数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 年未満							1		1											
1 ～ 2							3	1	4											
2 ～ 3					1		6		7											
3 ～ 4							6	2	8											
4 ～ 5						1	2		3											
5 ～ 6					1	2	3		6											
6 ～ 7					7	3			10											
7 ～ 8						1	1		2											
8 ～ 9						2			2											
9 ～ 10																				
10 ～ 11					1	1			2											
11 ～ 12					3	2			5											
12 ～ 13					2	2			4											
13 ～ 14					3	1			4											
14 ～ 15					2	1			3											
15 ～ 16					6				6											
16 ～ 17																				
17 ～ 18					7				7											
18 ～ 19	1				3				4											
19 ～ 20																				
20 ～ 21					2				2											
21 ～ 22																				
22 ～ 23																				
23 ～ 24				1	5				6											
24 ～ 25				1	4				5											
25 ～ 26				3	3				6											
26 ～ 27			1	3					4											
27 ～ 28			1	9	4				14											
28 ～ 29			6	5					11											
29 ～ 30			10	6					16											
30 ～ 31																				
31 ～ 32																				
32 ～ 33			2						2											
33 ～ 34			2						2											
34 ～ 35																				
35 以上		1	1						2											
合 計	1	1	23	28	54	16	22	3	148											
平 均 数	18.0	38.0	29.5	27.0	16.3	8.6	2.9	2.3	17.4											

7. 職員の配置状況

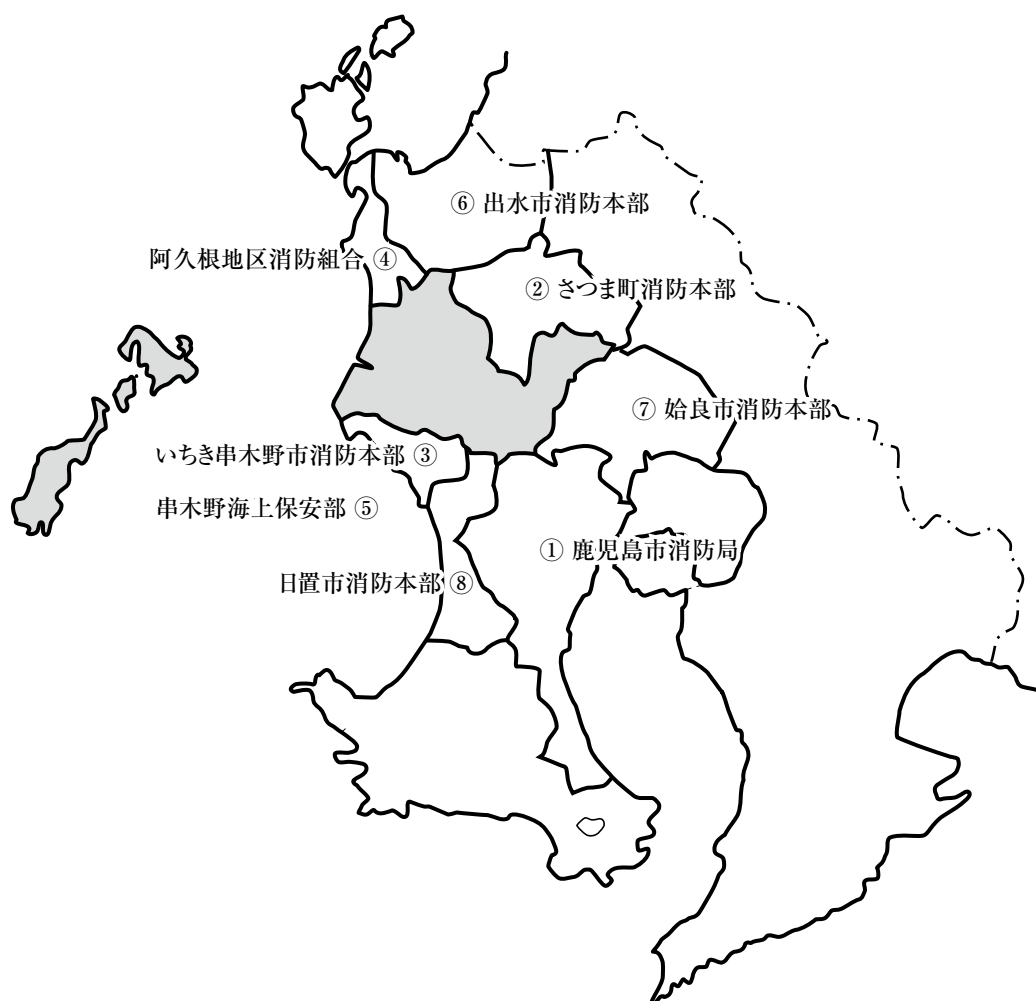
H 22. 4. 1 現在（単位：人）

区 分 所 属			計	消 防 職 員							
				消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
局 長			1	1							
次 長											
消 防 本 部	消 防 総 務 課	課 長	1			1					
		課 長 代 理	1			1					
		企 画 総 務 係	4			1				1	2
		施 設 装 備 係	2				1				1
		小 計	8			3	1			1	3
	警 防 課	課 長	1			1					
		課 長 代 理									
		第 1 通 信 指 令 係	4				1	3			
		第 2 通 信 指 令 係	4				2	2			
		警 防 救 急 係	2				1		1		
		消 防 団 係	2			1	1				
		小 計	13			2	5	5	1		
	予 防 課	課 長	1			1					
		課 長 代 理	1			1					
		予 防 調 査 係	2				2				
		危 険 物 係	1				1				
		小 計	5			2	3				
	計			26			7	9	5	1	1
消 防 署	中 央 消 防 署		43		1	5	7	16	5	9	
	南 部 分 署		13			2	3	5	1	2	
	上 甌 分 駐 所		5			1		4			
	下 甌 分 駐 所		5				1	3	1		
	東 部 消 防 署		21			4	4	6	3	4	
	祁 答 院 分 署		13			2	1	7	1	2	
	西 部 消 防 署		21			2	3	8	4	4	
	計		121		1	16	19	49	15	21	
合 計			148	1	1	23	28	54	16	22	3

8. 薩摩川内市消防局相互応援協定

H 22. 4. 1 現在

番 号	協 定 先 名	協 定 の 種 類	締 結 年 月 日
①	鹿 児 島 市 消 防 局	火 災	18. 8. 1
		救 急	21. 10. 1
②	さ つ ま 町 消 防 本 部	火 災 ・ 救 急	17. 4. 1
③	いちき串木野市消防本部	火 災 ・ 救 急	17. 11. 18
④	阿 久 根 地 区 消 防 組 合	火 災 ・ 救 急	18. 9. 1
⑤	串 木 野 海 上 保 安 部	船 舶 火 災	16. 10. 12
⑥	出 水 市 消 防 本 部	火 災 ・ 救 急	18. 10. 1
⑦	始 良 市 消 防 本 部	火 災 ・ 救 急	22. 3. 23
⑧	日 置 市 消 防 本 部	火 災 ・ 救 急	17. 11. 18
※	県 下 市 町 村 及 び 消 防 本 部	大 規 模 災 害 等	18. 10. 25



9. 予算の比較

H 22. 4. 1 現在（単位：千円）

年次	市一般会計予算	消 防 費	一般会計予算に対する割合（％）
平成 22 年度	49,880,000	2,230,927 (1,553,714)	4.4 (3.1)
平成 21 年度	46,020,000	2,119,150 (1,622,460)	4.6 (3.5)

※（ ）については、消防局所管分

10. 消防費と人口の比較

H 22. 4. 1 現在（単位：円）

区分	消 防 費	1 世 帯 当 た り	1 人 当 た り
予 算 額	2,230,927,000 (1,553,714,000)	49,235 (34,289)	22,159 (15,433)

※（ ）については、消防局所管分

11. 消防費の内訳

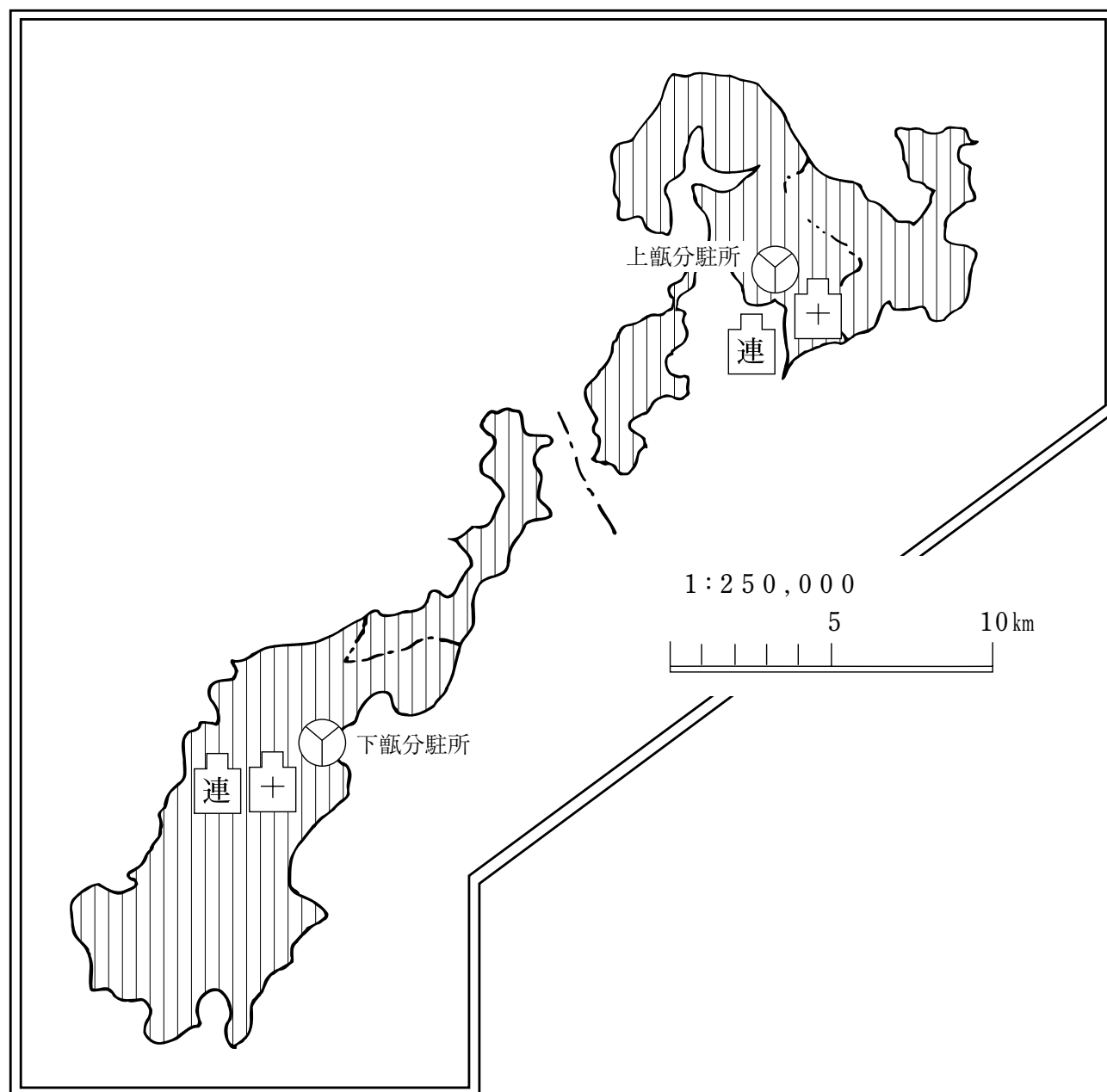
H 22. 4. 1 現在（単位：千円）

区 分		平成 22 年度当初予算額
消 防 局 所 管 分	常 備 消 防 費	1,213,837
	人 件 費	1,134,734
	報 償 費	410
	旅 費	6,907
	需 要 費	32,985
	役 務 費	10,076
	委 託 料	10,596
	使 用 料 及 び 賃 借 料	2,026
	工 事 請 負 費	500
	備 品 購 入 費	8,629
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	5,114
	公 課 費	1,860
	常 備 消 防 施 設 費	77,942
	役 務 費	91
分	委 託 料 ・ 工 事 請 負 費	6,942
	備 品 購 入 費 ・ 公 課 費	70,909
	非 常 備 消 防 費	193,935
	非 常 備 消 防 施 設 費	68,000
計		1,553,714
水 防 費		3,903
災 害 対 策 費		673,310
合 計		2,230,927

12. 薩摩川内市消防局（常備）消防分布図

H 22. 4. 1 現在

 消 防 ポ ン プ 自 動 車	 大 型 高 所 放 水 車	 指 揮 車
 水 槽 付 車 ポ ン プ 自 動 車	 大 型 化 学 車	 連 絡 車
 梯 子 車	 泡 原 液 搬 送 車	 防 火 広 報 車 (訓 練 指 導 車 含 む)
 救 急 車 (高 規 格 救 急 車 含 む)	 救 助 工 作 車	 調 査 車
 資 機 材 搬 送 車	 指 令 車	 運 搬 車 (軽 車 両 含 む)
 照 明 車	 指 揮 広 報 車	 本 部 指 揮 車





13. 消防職員特殊技能その他資格取得状況

H22. 4. 1 現在（単位：人）

種別				階級	消防 防 吏 員						事務 吏員	合計
					消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長		
自動車 運転免許	一種	大	型		1	23	27	54	16	9		130
		中	型					1		1		2
		普	通	1	1	23	27	54	16	22	3	147
		大 型 特 殊			2	3	2	1				8
	け ん 引			1	1	2					4	
	二種	大	型			5	8		1			14
		普	通			2	7					9
	自 動 二 輪				9	12	34	6	8		69	
救 急 救 命 士						2	5	15	6		28	
応 急 手 当 指 導 員						8	8	12			28	
薬 剤 投 与 認 定						2	2	5	2		11	
気 管 挿 管 認 定						2	5	10			17	
自 動 車 検 査 員						1					1	
自動車 整備士	2 級					1					1	
	3 級							1			1	
移 動 式 ク レ ー ン 運 転 士								1			1	
小型移動式クレーン技能講習						10	13	11			34	
玉 掛 技 能 講 習						5	6	9			20	
消 防 士	消防士	甲 種 第 4 類				1	1				2	
		乙 種 第 4 類			1	2	3	1			7	
		乙 種 第 5 類						1			1	
		乙 種 第 6 類				1		2	3		6	
		乙 種 第 7 類					1	1			2	
第 2 種 消 防 設 備 点 検 資 格 者							1				1	
危 険 物 取扱者	乙 種	第 1 類			2	1	3	1	1		8	
		第 2 類			2	1	2	1			6	
		第 3 類			2	2	2	1			7	
		第 4 類			20	14	42	16	15		107	
		第 5 類			2	2	2	2			8	
	第 6 類			2	1	1	1			5		
	丙 種				1	2	2				5	
陸上特殊 無線技師	2	級		1	10	5					16	
	3	級				1	16	9	1		27	
アマチュア 無線技師	第 4 級			6	7	3					16	
電 気 工 事 士						1	2	4	2	2	11	
認 定 電 気 工 事 従 事 者									1		1	
毒 ・ 劇 物 取 扱 者						1		1			2	
ガ ス 溶 接 技 能 講 習						1	2	1	1		5	
ア ー ク 溶 接 特 別 教 育						1		1			2	
ボイラー技士	2	級			2					1	3	
小型船舶 操縦士	1	級			1	1					2	
	2	級		1	8	9	4				22	
潜 水 士						3	3	16	3	1	26	
車 両 建 設 機 械 技 能 講 習							1	2			3	
小型車両建設機械技能講習						1	5	5	1		12	
測 量 士 補							1				1	
石 油 機 器 技 術 管 理 士						1	2				3	
教 員 免 許						2		1	1		4	
視 聴 覚 教 育 指 導 者						1	2	1		1	5	
1 6 mm 映 写 技 士						4	2			1	7	
宅 地 建 物 取 引 主 任 者						1					1	
高 圧 ガ ス 販 売 主 任 者						1					1	
特 定 科 学 物 質 作 業 主 任 者							3				3	
防 火 対 象 物 点 検 資 格 者							2				2	
予 防 技 術 資 格 者	防火技術 資格者	防 火 査 察			6	2	2	2			12	
		消 防 用 設 備 等			5	3	1				9	
		危 険 物			7	1						8

1. 防火対象物現況

H 22. 4. 1 現在

区 分			署 所	中 央 消防署 (含南部分署)	東 部 消防署 (含祁谷院分署)	西 部 消防署	上 甌 分駐所	下 甌 分駐所	計
1	イ	劇場・観覧場類		4					4
	ロ	分会堂・集会場類		13	6	1	4	2	26
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ類							
	ロ	遊技場・ダンスホール		17	1		1		19
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合・料理店類							
	ロ	飲食店		52	9	3			64
4		百貨店・物品販売店舗		121	19	4	2	3	149
5	イ	旅館・ホテル類		38	22	11	7	17	95
	ロ	寄宿舍・共同住宅類		738	49	7	23	29	846
6	イ	病院・診療所又は助産所		84	16	2	3	4	109
	ロ	老人短期入所施設等		29	15	3	3	3	53
	ハ	老人デイサービスセンター等		56	12	10	1	2	81
	ニ	幼稚園又は特別支援学校		11	15	1	2	2	31
7		学校		144	49	22	13	20	248
8		図書館・博物館類		4	4	4		1	13
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場類							
	ロ	イに掲げるもの以外の公衆浴場		4	5	5			14
10		車両の停車場				1	2	3	6
11		神社・寺院・教会類		23	11	8		8	50
12	イ	工場・作業場		334	131	88	10	6	569
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場		26	16	10		1	53
	ロ	飛行機の格納庫							
14		倉庫		163	55	56	10	6	290
15		前各号に該当しない事業場		304	240	81	33	33	691
16	イ	前1～4・5イ・6・9の存する複 合用途防火対象物		242	34	8	8	4	296
	ロ	イに掲げるもの以外の複合用途防 火対象物		173	13	14	4	4	208
18		アーケード		5					5
計				2,585	722	339	126	148	3,920

2. 建築同意事務処理状況

H 21. 4. 1 ～ H 22. 3. 31

区 分 \ 署 別	中 央 消 防 署 (含南部分署) (上甌・下甌分駐所)	東 部 消 防 署 (含祁答院分署)	西 部 消 防 署	計
新 築	95	12	6	113
増 築	6		1	7
改 築	1			1
移 転				
修 繕				
模 様 替				
用 途 変 更	3			3
そ の 他				
合 計	105	12	7	124

建築申請通知（一般住宅）	264	20	7	291
--------------	-----	----	---	-----

3. 防火対象物定期点検報告制度実施状況

H 21. 4. 1 ～ H 22. 3. 31

防火対象物の区分		防火対象物数定期点検報告制度実施状況									
		該 当 数		点 検 報 告 済		特 例 認 定 済		一部点検済又は特例認定済		未実施又は特例認定申請中	
		1 号	2 号	1 号	2 号	1 号	2 号	1 号	2 号	1 号	2 号
1 項	イ	1				1					
	ロ	15		10		5					
2 項	イ										
	ロ	10		7		3					
	ハ										
3 項	イ										
	ロ	2	3		1					2	2
4 項		13	1	4		6				3	
5 項	イ	7	6		2	4	2			3	2
6 項	イ	3	2		1	2	1			1	1
	ロ										
	ハ	1				1					
	ニ										
9 項	イ										
16 項	イ	15	4	3	2	8				4	2
16 項の 2											
合 計		67	16	24	6	30	3			13	7

※ 1 号とは、消防法施行令第 4 条の 2 の 2 の 1 号に定める人員 300 人以上のもの。

※ 2 号とは、同第 2 号に定める特定 1 階段等防火対象物

4. 中高層建築物一覧表

H 22. 4. 1 現在

階 数	署 別	中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	計
3	階	360	35	11	18	25	449
4	階	194	16	4			214
5	階	56	8	4		3	71
6	階	9	3	2	1		15
7	階	5					5
8	階	2					2
11	階	1					1
12	階	1					1
14	階	1	1				2
15	階	1					1
合	計	630	63	21	19	28	761

5. 諸届出書の処理状況

H 21. 4. 1 ～ H 22. 3. 31

種 類 \ 署 所		件 数						
		中央 消防署 (含南部分署)	東部 消防署	祁 答 院 分 署	西 部 消 防 署	上 甌 分 駐 所	下 甌 分 駐 所	合 計
薩摩川内市火災予防条例関係	防火対象物使用開始届出書	50	4	3	1	2		60
	炉・厨房設備・ボイラー等設置届出書	9	3			1	1	14
	発電・変電・蓄電池設備設置届出書	20	5		1	3	1	30
	ネオン管灯設備設置届出書							
	水素ガスを充てんする気球の設置届	3						3
	火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出書	80	89	20	18	11	3	221
	煙火の打上・仕掛け届出書	67	15	8	11	3	5	109
	催物開催届出書	12	1					13
	水道断減水届出書	1	1					2
	道路工事届出書	494	95	27	60	48	49	772
	指定洞道等設置届出書							
	少量危険物・指定可燃物貯蔵届出書	9			8	3	3	23
消防法関係	液化石油ガス等の貯蔵又は取扱い届出書	20	6	2				28
	消防用設備等着工届出書	71	2	4	12	3	5	97
	消防用設備等設置届出書	149	8	7	19	4	6	193
	防火管理者選解任届出書	108	21	13	14	9	16	181
	消防計作成変更画届出書	131	26	17	16	12	17	219

6. 予防査察実施状況

H 21. 4. 1～H 22. 3. 31

区 分			署 所	中 央 消防署 (含南部分署)	東 部 消防署 (含松陰院分署)	西 部 消防署	上 甌 分駐所	下 甌 分駐所	計
1	イ	劇場・観覧場類		1					1
	ロ	分会堂・集会場類		12	6	1	4		23
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ類							
	ロ	遊技場・ダンスホール		12					12
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合・料理店類							
	ロ	飲食店		3	1				4
4		百貨店・物品販売店舗		64	8	2		3	77
5	イ	旅館・ホテル類		14	13		7	9	43
	ロ	寄宿舍・共同住宅類		2	13	1			16
6	イ	病院・診療所又は助産所		17	4				21
	ロ	老人短期入所施設等		10	20		2		32
	ハ	老人デイサービスセンター等			14	6			20
	ニ	幼稚園又は特別支援学校			8		2	1	11
7		学校			18	8	13	21	60
8		図書館・博物館類		1	2				3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場類							
	ロ	イに掲げるもの以外の公衆浴場			1				1
10		車両の停車場							
11		神社・寺院・教会類			4	1			5
12	イ	工場・作業場		2	7	7	11		27
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場		4		6			10
	ロ	飛行機の格納庫							
14		倉庫		6	5	6	1	4	22
15		前各号に該当しない事業場		6	69	9			84
16	イ	前1～4・5イ・6・9の存する複 合用途防火対象物		18	7	1	3	3	32
	ロ	イに掲げるもの以外の複合用途防 火対象物		3	2	1	5		11
計				175	202	49	48	41	515

7. 地域別危険物施設現況

H 22. 4. 1 現在

施設区分 地域	製造所	貯蔵							取扱					合計		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	移送取扱所	一般取扱所	第一種販売取扱所		第二種販売取扱所	
川内	2	20	51	6	45		28	5	155	76	3	61	1	1	142	299
樋脇		1	7	1	8		8		25	11		5			16	41
入来		1	11	1	7		4		24	9		6			15	39
東郷			2		3		2		7	5		2			7	14
祁答院		1			4		1	1	7	9		2			11	18
里			6		1		5		12	3		2			5	17
上甑		3	10		1		4	1	19	6	1	10			17	36
下甑		5	11	1	3		6	4	30	8		6			14	44
鹿島		1	2						3	2					2	5
合計	2	32	100	9	72		58	11	282	129	4	94	1	1	229	513

8. 危険物施設の数量及び類別状況

H 22. 4. 1 現在

施設区分 数量・類別	製造所	貯蔵								取扱				合	
		所								所				計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	移送取扱所	一般取扱所	第一種取扱所	第二種取扱所	計
数	5 倍以下	1	15	22	7	40	40	6	130	9		40			49
	5 倍を超え10 倍以下		5	25	1	9	6	4	50	11		17			28
	10 〃 50 〃	1	8	31	1	16	11	1	68	49		20	1	1	71
	50 〃 100 〃		1	5		1	1		8	23		10			33
	100 〃 150 〃		1	3		3			7	13					13
	150 〃 200 〃		1						1	7	1	2			10
	200 〃 1,000 〃		1	10		3			14	17	2	3			22
	1,000 倍を超えるもの			4					4		1	2			3
計		2	32	100	9	72	58	11	282	129	4	94	1	1	229
類別	第 1 類											1			1
	第 2 類														
	第 3 類														
	第 4 類	2	30	99	9	72	58	11	279	129	4	88	1	1	223
	第 5 類														
	第 6 類			1					1						1
混在			2						2			5			5
計		2	32	100	9	72	58	11	282	129	4	94	1	1	229
															513

9. 危険物施設の許可等処理状況

H 21. 4. 1 ～ H 22. 3. 31

種 別 施 設 区 分		許 可		完 成 検 査		承 認			廃 止 届
		設 置	変 更	設 置	変 更	仮 貯 蔵	仮 取 扱	仮 使 用	
製 造 所						8			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所								2
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	2	2				5
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所			1					1
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所								1
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	1	3	1	3				4
	屋 外 貯 蔵 所								
	計	2	4	4	5				13
取 扱 所	給 油 取 扱 所	1	14	1	13			9	7
	第 一 種 販 売 取 扱 所								
	第 二 種 販 売 取 扱 所								
	移 送 取 扱 所								1
	一 般 取 扱 所	1	3	1	4			4	3
	計	2	17	2	17			13	11
合 計		4	21	6	22	8		13	24

10. 危険物施設の立入検査実施状況

H 21. 4. 1～H 22. 3. 31

施設区分 \ 項目		検査施設数	延回数
製造所			
貯蔵所	屋内貯蔵所	10	11
	屋外タンク貯蔵所	50	50
	屋内タンク貯蔵所	1	1
	地下タンク貯蔵所	19	19
	移動タンク貯蔵所	62	62
	屋外貯蔵所	7	7
	計	149	150
取扱所	給油取扱所	102	110
	移送取扱所	7	7
	一般取扱所	52	52
	第一種販売取扱所		
	第二種販売取扱所		
	計	161	169
合計		310	319

1. 地域別火災発生状況

H 21. 1. 1 ～ H 21. 12. 31

区 分		地域別		川	内 樋	入 来	東 郷	祁 答 院	里	上 甌	下 甌	鹿 島	計
火 災	火 災 件 数	43	14	8	5	11					1		82
	建物火災	12	6		3	4							25
火 災	林野火災	3	2			1							6
	車両火災	4		2	1	2							9
種 別	船舶火災												
	その他の	24	6	6	1	4					1		42
爆 発	爆発火災												
	住家	13	4		3	2							22
り 災 棟 数	非住家	1	2		1	1							5
	世帯数	28	4		3	1							36
り 災 人 員 数	人員数	48	9		8	1							66
	建物	602	540		346	143							1,631
焼失面積	床面積 (㎡)	20			1	4							25
	表面積 (㎡)	7	6			3							16
死 傷 者	死者	1	1										2
	傷者	8	3		1						1		13
損 害 額	建物 (千円)	47,960	15,008		7,872	15,796							86,636
	林野					29							29
損 害 額	車両	245		348	220	8,930							9,923
	船舶												
損 害 額	その他の	162	218	100									480
	爆発	3,218											3,218
計		51,765	15,226	448	8,092	24,755							100,286

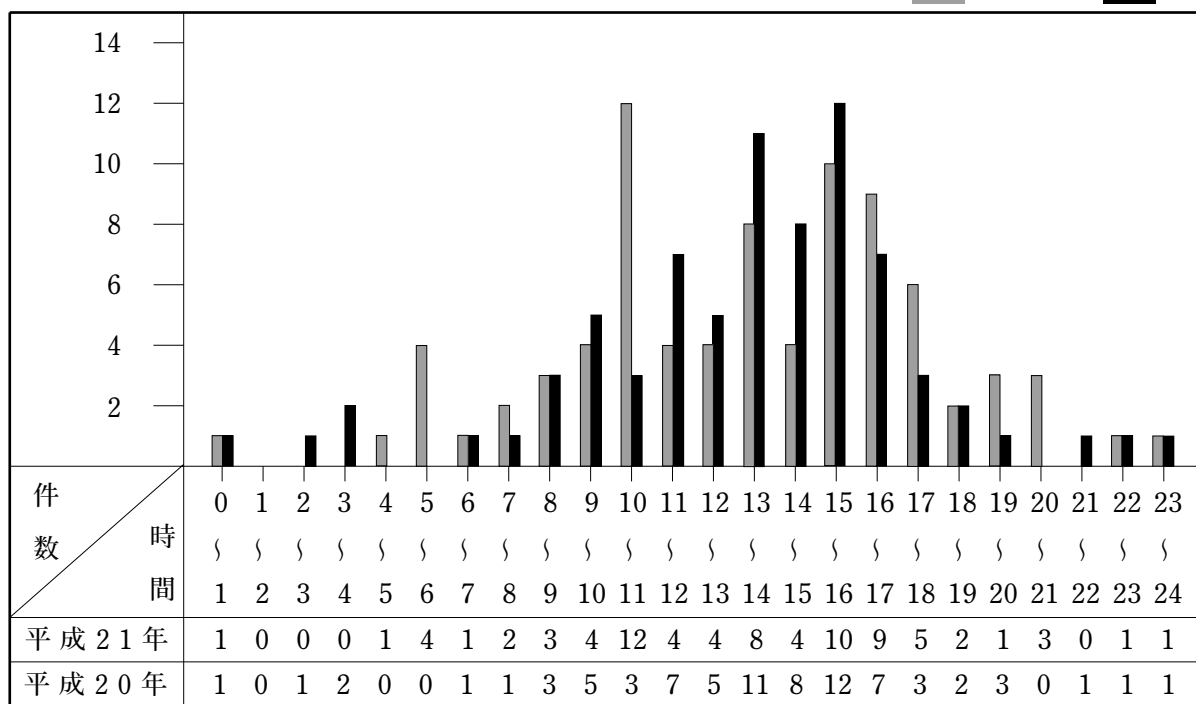
2. 月別火災発生状況

H 21. 1. 1 ～ H 21. 12. 31

区 分 月 別	発 生 件 数						損 害 額 (千 円)						焼 損 棟 数						り 災 世 帯 数	り 災 人 員 数	死 傷 者		焼 失 面 積						
	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発	計	全 焼	半 焼	住 家				非 住 家		死	傷 者	床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)	建 物	林 野 等 (a)	
																	部 分	部 分			全 焼	半 焼							部 分
1	1		1		1		3	25		45		77			147			1				1	1						
2	5		1		2		8	29,351		7,770			3,218	40,339	1	1						17	23	1	512				
3	2		1				3	44		250				294				2				2	6	3	1	1			
4	4				3		7	8,984						8,984	2		2	2	1			6	14	1	1	468			
5	3	1	1		9		14	18,200	29	220		100		18,549					1			2	2	3	113			3	
6	2				3		5	13						13			1			1		1	2	2	2	2	2		
7	2						2	15						15			1	1				2	2	1	1	5			
8	2	3	1		5		11	11,113		268		242		11,623	2							2	5			340		8	
9	2	1			14		17	2,781				60		2,841				1	1			1	6	1	1	52		1	
10	1	1	2		4		8	14,360		160				14,520	1			1				2	5			89	17	4	
11			2		1		3			1,210		1		1,211															
12	1						1	1,750						1,750				1						1	53				
計	25	6	9		42		82	86,636	29	9,923		480	3,218	100,286	6	1	4	8	2	2	1		36	66	2	13	1,631	25	16

3. 時間別火災発生状況

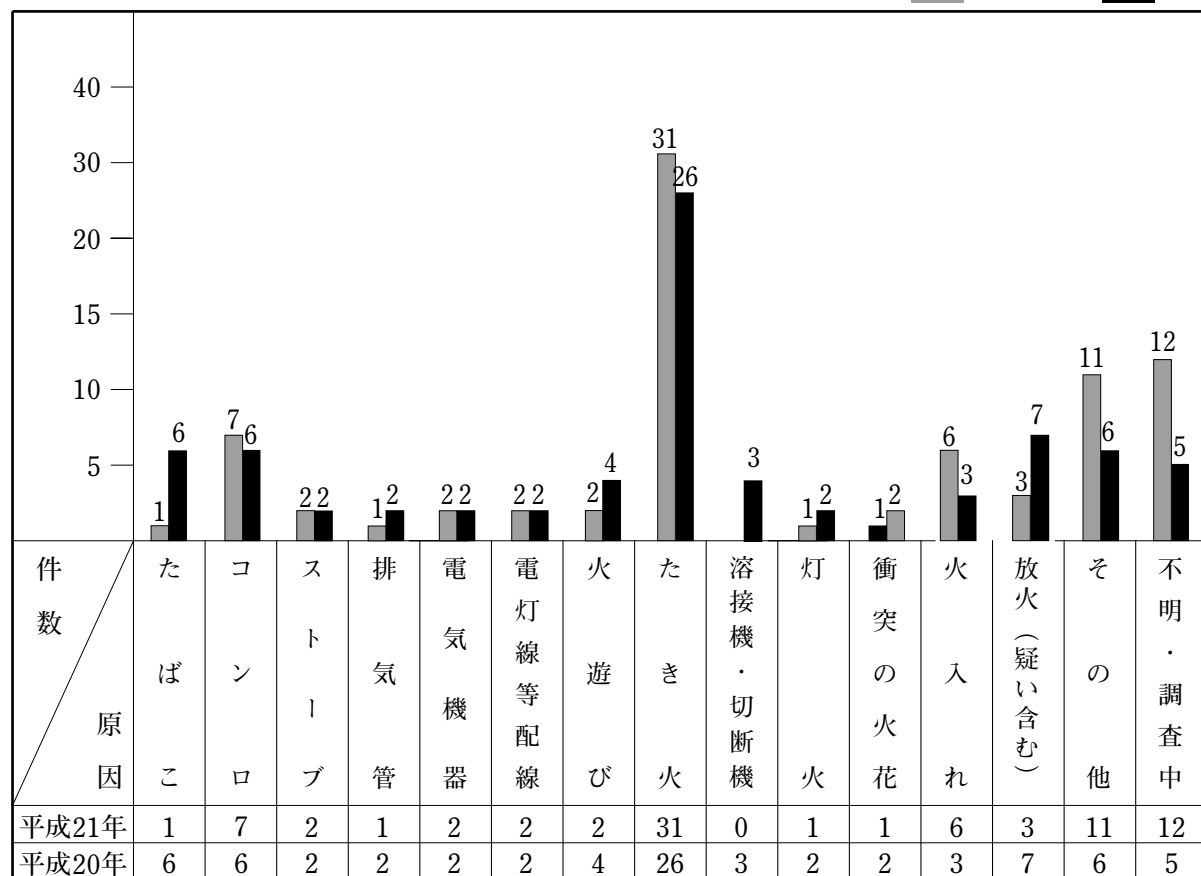
平成21年 平成20年



合計件数 平成21年 80件 (不明2)
平成20年 78件

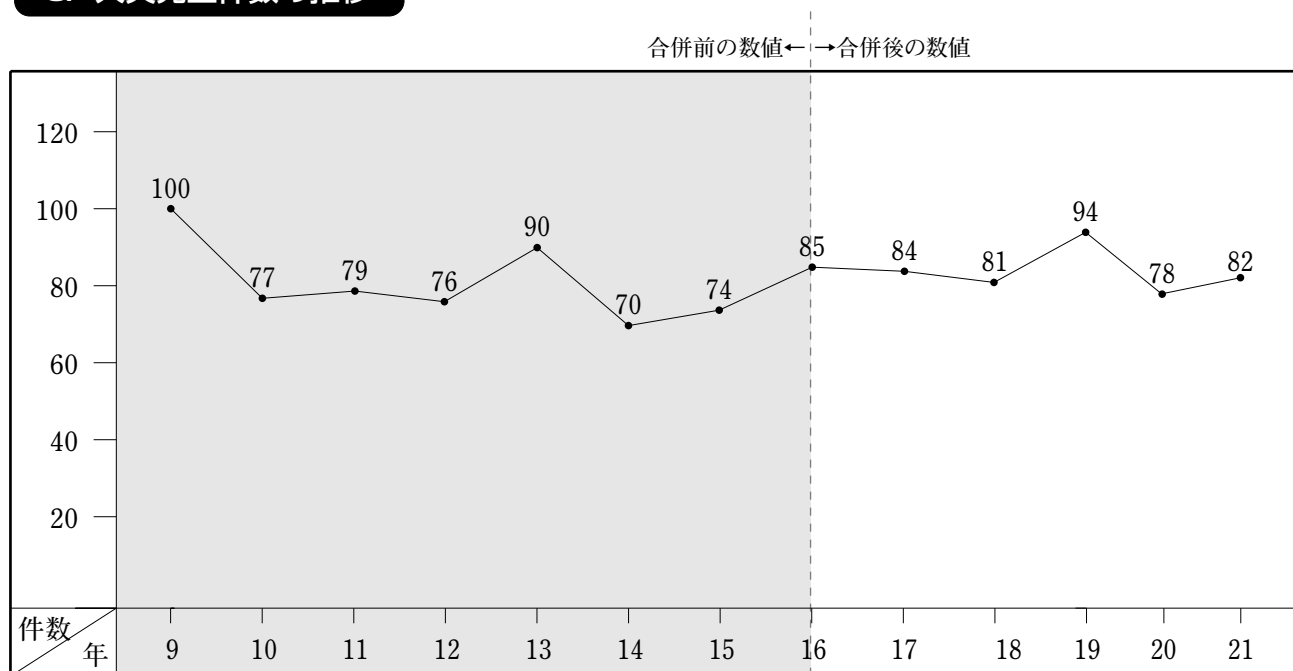
4. 原因別火災発生状況

平成21年 平成20年



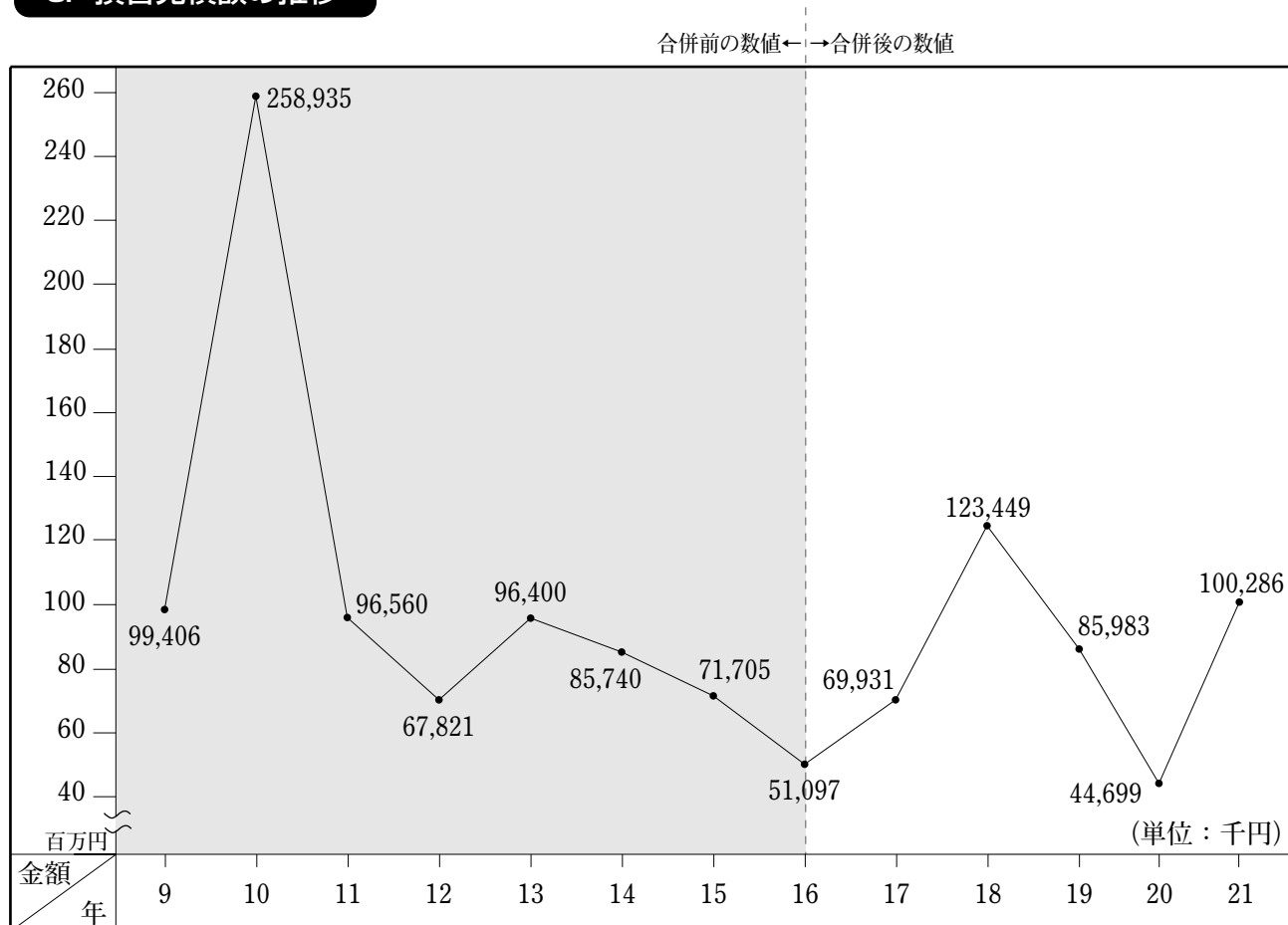
合計件数 平成21年 82件
平成20年 78件

5. 火災発生件数の推移



※合併前の数値（祁答院地区を除いたもの）

6. 損害見積額の推移



※合併前の数値（祁答院地区を除いたもの）

7. 消防水利状況

H 22. 4. 1 現在

区分 地域名	消 火 栓				防 火 水 槽					その他	充足率 (%)
	総数	適合	否適合	格納箱	総数	適合	否適合	有蓋	無蓋		
川 内	1,648	783	865		418	110	308	417	1	28	46
樋 脇	236	49	187	214	74	70	4	74		9	27
入 来	165	68	97	140	59	37	22	58	1	6	44
東 郷	85	34	51		99	95	4	95	4	7	32
祁 答 院	76	6	70	61	103	50	53	84	19	6	68
里	43	12	31	5	31	28	3	31		3	92
上 甕	79		79	74	22	20	2	22		6	75
下 甕	97		97	83	43	36	7	43		12	83
鹿 島	19	3	16	17	11	9	2	10	1	2	100
合 計	2,448	955	1,493	594	860	455	405	834	26	79	50

※ その他は、プール・自然水利等

※ 充足率は、平成 21 年度消防施設整備計画実態調査による。

消 火 栓 ———— 適 合 直径 150mm 以上に取り付けられている。
又は、管網の一片が 180m 以下で、直径 75mm 以上に取り付けられている。
否適合 上記以外

防火水槽 ———— 適 合 40t 以上
否適合 40t 未満

8. 消防車両等の概要

H 22. 4. 1 現在

番号	所 属	車 両 名	車 種	登 録 番 号	購入年月	経過 年数	ポンプ及びメーカー	備 考
1	消 防 本 部	指 令 車	ニッサン	鹿児島 88 す 6483	H8. 3	14		
2		連 絡 車 I	ニッサン	鹿児島 52 そ 653	H9. 3	13		
3		連 絡 車 II	三 菱	鹿児島 800 さ 5843	H15. 6	7		
4		資機材搬送車 I	三 菱	鹿児島 800 さ 1895	H12. 7	10		クレーン付
5		資機材搬送車 II	いすゞ	鹿児島 46 の 4063	H6. 12	16		
6		災 害 調 査 車	クライスラー	鹿児島 800 す 1013	H16. 6	6		
7		運搬車（軽）	マツダ	鹿児島 43 け 3385	H14. 6	8		
8		コ ン テ ナ 車	トヨタ	鹿児島 11 ぬ 607	H7. 8	15		H21 所管換え
9		バ ッ ク ホ ウ	クボタ		H17. 2	5		バケット (容量0.04m³)
10		本 部 指 揮 車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2250	H12.10	10		
11		連 絡 車	ニッサン	鹿児島 800 さ 3817	H13.12	9		
12		予 防 指 導 車	マツダ	鹿児島 88 に 3780	H10.11	12		
13		調 査 車	ニッサン	鹿児島 88 す 9143	H10. 8	12		
14		原 因 調 査 車	ニッサン	鹿児島 100 す 5927	H7. 8	15		
15		訓 練 指 導 車	マツダ	鹿児島 88 す 8047	H9. 8	13		
16	中 央 消 防 部	指 揮 広 報 車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3528	H13. 9	9		
17		ポ ン プ 車	日 野	鹿児島 800 さ 9737	H19. 1	3	A-2 日本 ドライケミカル	
18		水槽付ポンプ車	日 野	鹿児島 800 は 500	H14.12	8	A-2 日本機械	水 2 t
19		梯子付ポンプ車	日 野	鹿児島 88 ゆ 760	H2. 10	20	A-2 モリタ	35 m級
20		救 助 工 作 車	日 野	鹿児島 800 は 496	H14.12	8		
21		高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 さ 7565	H16.11	6		
22		2 B 型救急車	トヨタ	鹿児島 800 さ 4475	H14. 5	8		
23		高規格救急車	トヨタ	鹿児島 88 す 6259	H7. 12	15		予備車
24		2 B 型救急車	トヨタ	鹿児島 88 す 5084	H6. 10	16		予備車
25		連絡車（軽）	スバル	鹿児島 880 あ 590	H20.12	2		
26	南 部 署	水槽付ポンプ車	日 野	鹿児島 800 は 84	H11.12	11	A-2 日本 ドライケミカル	水 2.5 t
27		大型高所放水車	日 野	鹿児島 800 は 1222	H22. 3	0	A-1 モリタ	25 m級
28		2 B 型救急車	トヨタ	鹿児島 800 さ 4917	H14. 9	8		
29	上 甕	連 絡 車	三 菱	鹿児島 88 す 9480	H10.11	12		
30	下 甕	2 B 型救急車	トヨタ	鹿児島 800 さ 1844	H12. 7	10		
31		連 絡 車	マツダ	鹿児島 800 さ 1650	H12. 5	10		

番号	所 属		車 両 名	車 種	登 録 番 号	購入年月	経過 年数	ポンプ及びメーカー	備 考
32	東 部 消 防 署	東 部	指 揮 車	マツダ	鹿児島 800 さ 158	H11. 6	11		
33			水槽付ポンプ車	いすゞ	鹿児島 88 す 5796	H7. 7	15	A－2 吉谷機械	水 1.7 t
34			電 源 照 明 車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2024	H12. 8	10		
35			高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 2008	H21. 11	1		
36			水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 88 す 1868	H2. 11	20	A－2 日本 ドライケミカル	水 2 t (予備車)
37		祁答院	指揮車（軽）	ニッサン	鹿児島 880 あ 151	H18. 2	4		
38			水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 800 は 831	H17.11	5	A－2 GM いちはら	水 2 t
39			2 B 型救急車	トヨタ	鹿児島 800 さ 8836	H18. 2	4		
40	西 部 消 防 署	西 部	指 揮 車	マツダ	鹿児島 800 さ 1648	H12. 5	10		
41			水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 88 ゆ 2213	H8. 11	14	A－2 日本機械	水 2 t
42			大 型 化 学 車	日野	鹿 88 や 3044	S60. 3	25	A－1 モリタ	泡原液 1.8t, 水 1.8 t
43			泡原液搬送車	日野	鹿 88 や 3047	S60. 3	25		泡原液 5 t
44			高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3771	H13.11	9		
45			高規格救急車	ニッサン	鹿児島 88 す 9687	H11. 1	11		予備車
46			ポ ン プ 車	いすゞ	鹿児島 88 す 392	S63. 9	22	A－2 日本 ドライケミカル	予備車

9. 救急資器材の装備状況

H 22. 4. 1 現在

種別	署別 （含南部分署 上・下飯分駐所）	東部消防署 （含 祁答院分署）	西部消防署	計
除 細 動 器 （ A E D 含 む ）	13	3	3	19
自 動 式 心 肺 蘇 生 装 置	1	2	1	4
患 者 監 視 装 置	5	2	1	8
輸 液 用 資 器 材 一 式	2	1	1	4
気 道 確 保 用 資 器 材 一 式	2	2	1	5
自 動 式 人 工 呼 吸 器	2	2	1	5
シ ョ ッ ク パ ン ツ	2	2	1	5
在 宅 療 法 継 続 用 資 機 材	2	1	1	4
喉 頭 鏡 セ ッ ト	5	3	1	9
マ ギ ー ル 鉗 子	10	4	2	16
聴 診 器	6	3	3	12
血 圧 計 （ 車 載 ・ 携 帯 ）	4	3	3	10
流 量 加 湿 器	5	2	2	9
マイクロベント（デマンドバルブ）	4			4
吸 引 器	5	2	1	8
酸 素 ボ ン ベ	34	5	1	40
減 圧 式 固 定 具	5	2	2	9
バ ッ グ マ ス ク	7	4	3	14
衛 生 器 材	5	2	1	8
救 命 ブ イ	4	2	1	7
メ イ ン ス ト レ ッ チ ャ ー	5	2	2	9
ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー	7	2	2	11
補 助 担 架	16	3	1	20
自 動 滅 菌 器	1	1	1	3
救 急 車 内 殺 菌 装 置	4	2	1	7
消 毒 用 噴 霧 器	4	1	1	6
訓練用シミュレーター・システム	2	1	1	4
心 肺 蘇 生 訓 練 用 人 形 （ 成 人 ）	15	1	1	17
心 肺 蘇 生 訓 練 用 人 形 （ 小 児 ）	4			4
心 肺 蘇 生 訓 練 用 人 形 （ 乳 児 ）	6	2		8
心 臓 マ ッ サ ー ジ 用 補 助 器 具	2	2	1	5
グループ講習用心肺蘇生マネキン	10	1		11
バ ッ ク ボ ー ド 一 式	5	2	1	8
気 道 管 理 ト レ ー ナ ー	1	1		2
シ ョ ー ト ボ ー ド	5	2	1	8

10. 特殊機材の装備状況

H 22. 4. 1 現在

種 別	型 式 ・ 規 格	現 有 数	備 考
空 気 式 救 助 マ ッ ト	ソフトランディング S L - 35	1	
救 助 幕		1	
救 命 索 発 射 銃	M-3型 ×3 M S - 30 型 ×2 M-63 型 ×1	6	
大 型 油 圧 ジ ャ ッ キ	ルーカス × 3 ウェーバー × 1	4	
ポ ー ト パ ワ ー		2	
油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	ルーカス ×6 ウェーバー ×1 オグラ ×1	8	(大型含む)
パ ワ ー ユ ニ ッ ト	ルーカス × 6 ウェーバー × 1	7	
可 搬 ウ イ ン チ	チルホール T U - 16	7	
張 力 計	MD - 3000	4	
マンホール救助器具	ロールグリス	1	
マット型空気ジャッキ一式	68 t ×1 40 t ×2 24 t ×1 18 t ×1 12 t ×1 6 t ×1 3 t ×1 1 t ×1	2	(式)
救助用支柱器具一式	レスキュー・ショア	1	
油 圧 切 断 機	ルーカス ×6 ウェーバー ×1 オグラ ×1	8	(大型含む)
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	パートナー ×6 スチール ×3	9	
ガ ス 溶 断 機	ニューチヨパック	1	
ア ー ク エ ア ー 溶 断 機	酸素溶断機	1	
チ ェ ン ソ ー	50cm × 3 (カッターエッジ) 45cm × 4 35cm × 4	11	
エ ア ー ソ ー	タイガー ×4 エアーツール ×1	5	
エ ア ー カ ッ タ ー	アジャックス M - 711	1	
ス パ カ ッ タ ー	A N - 82	1	
削 岩 機	ピコ 14 マルゼン M A - 180	2	
ハ ン マ ー ド リ ル	P H - 65 A D H - 42	2	
有 毒 ガ ス 検 知 器	G X - 111 ×7, X P - 302 M ×1	8	
可 燃 性 ガ ス 測 定 器	X P - 301 ×1	1	
放 射 線 測 定 器	T G S - 502	1	
音 響 発 光 式 検 電 器		1	

種 別	型 式 ・ 規 格	現有数	備 考
空 気 呼 吸 器	ライフゼム ドレーゲル ブルネック	62	原子力資機材(県貸与品)23
空 気 ボ ン ベ	6 型 × 1 8 型 × 51 8 型軽量 114	166	原子力資機材(県貸与品)74
酸 素 呼 吸 器	ライフゼム	5	
酸 素 ボ ン ベ		8	
送 排 風 機	P F E - 282 Y	5	大型含む
耐 電 衣 一 式		2	
耐 電 長 靴		7	
耐 電 手 袋		14	
化 学 防 護 服		4	
防 毒 衣		2	
耐 熱 服 一 式		5	
発 電 機	ホンダ ヤマハ	22	
車 両 移 動 器 具 一 式	ゴージャッキ A Z - 6000	1	
緩 降 機	25 m × 1 13 m × 1 15 m × 2 20 m × 1 27 m × 1 37 m × 1	7	
熱 画 像 直 視 装 置	サーモトレーサ T H 5104	1	
救 命 ボ ー ト	4 人乗 8 人乗 9 人乗	3	15hp・20hp・150hp 船外機付
携 帯 警 報 機	スーパーパス	20	
携 帯 投 光 器	S P - M 35 D B メタルハライド	2	
ピ ッ ク ア ッ プ 式 ノ ズ ル		4	
空 気 圧 縮 機	田辺 V - 11	1	
防 護 服	アノラック型 タイベック型	1321	原子力資機材(県貸与品)
防 護 面 体	T S 式	1024	原子力資機材(県貸与品)
防 護 手 袋	ゴム手袋 × 541 布手袋 × 537	1078	原子力資機材(県貸与品)
ポ ケ ッ ト 線 量 計	P D M - 102 × 41 P D M - 112 × 20 A D M - 102 × 8 A D M - 112 × 48	117	原子力資機材(県貸与品)
サ ー ベ イ メ ー タ ー	T G S - 121 × 2 T G S - 136 × 2 I C S - 321 × 1 T P S - 451 C × 1	6	原子力資機材(県貸与品)
エ ア ー テ ン ト 一 式		2	原子力資機材(県貸与品)
除 染 シ ャ ワ ー 一 式		1	原子力資機材(県貸与品)

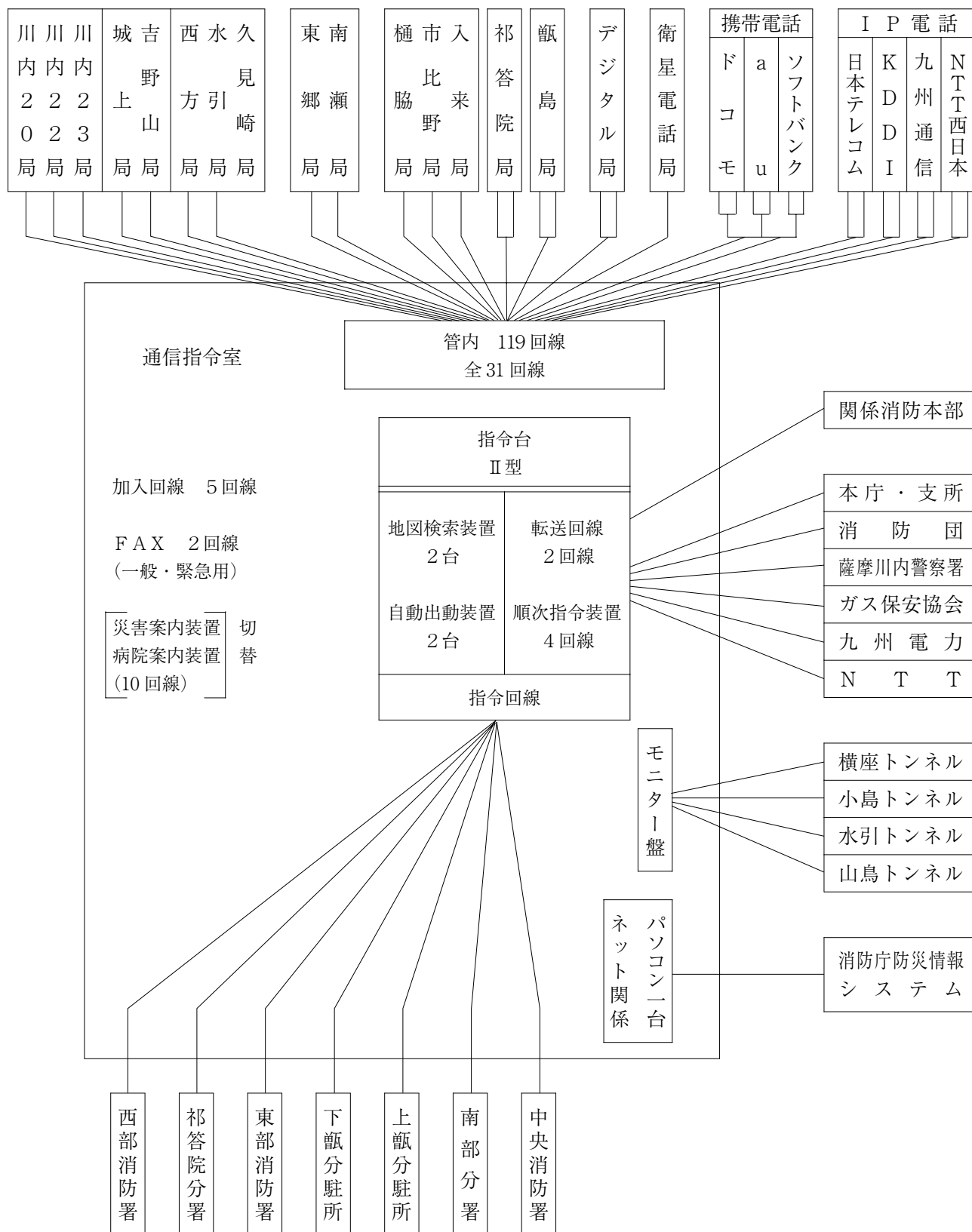
11. 潜水資機材の装備状況

H 22. 4. 1 現在

種 別	型 式 ・ 規 格	現有数	備 考
ウェットスーツ(フード付)	Sプロ. 5 W J	21	
レギュレーター	Sプロ. マーク 10 / R 190	12	
3 ゲージ	S A S 社 ライブナビ 401	12	
B C ジャケット	Sプロ. スタビライジングジャケット	12	
レギュレーター一体型BCジャケット	mares	1	
マ ス ク	Sプロ. J フレームマスク	22	
ス ノ ー ケ ル	T U S A S P - 450 Q	22	
フ ィ ン	Sプロ. ジェットスラストフィン	20	
ナ イ フ 一 式	U S - ダイバーズアクア	6	
ヘルメット	A B S 樹脂製	20	
ブ ー ツ	ファスナー付 (T U S A)	22	
グ ロ ー ブ	サマーグローブ	21	
ウ ェ イ ト ベ ル ト	Nバックル付ベルト	15	
鉛	2.0kg	18	
〃	1.5kg	18	
〃	1.0kg	32	
水 中 ラ イ ト	ルーメン 6 ライト Laser プロ 4 D	9	
水 中 投 光 器	N S L - 1000 100 V - 1000 W	1	
サポーターティングフロート	T U S A	2	
国 際 信 号 旗	T U S A	1	
水 中 無 線 一 式	フジフィットホン	1	
ロ ー プ	フローティング (10 m, 20 m, 30 m)	3	
ダ イ ブ リ ポ ー ト		1	
ドライスーツ (フード付)	アクアラング No.T - 34	3	
灯 浮 標	5 - A型	1	
空 気 ボ ン ベ	12 型メタリコンタンク 200kg/ cm ³	25	

12. 通信系統図

H 22. 4. 1 現在



13. 無線配置状況

(1) 常備消防

H 22. 4. 1 現在

基 地 局			せんしょうほんぶ 川消本 部					せんしょうてらやま 川消寺 山						
周 波 数			F 3 E 149.63 MHz (市町村波) F 3 E 148.21 MHz (県波) F 3 E 158.35 MHz (県防災相互波)					F 3 E 150.73 MHz (全共 1) F 3 E 148.75 MHz (全共 2) F 3 E 154.15 MHz (全共 3)						
車 種 等			事 務 所	ポ ン プ 車	水 槽 付 車	梯 子 付 車	高 放 水 車	大 化 学 型 車	泡 搬 原 送 液 車	照 工 明 作 車	救 急 車	指 本 令 部 車	指 揮 車	計
陸 上	車 載 型	消 防 本 部										4		4
		中央消防署		1	1	1				工 1	3		1	8
		南 部 分 署	1		1		1							3
		上 甌分駐所	※ 1								1			2
		下 甌分駐所	※ 1								1			2
		東部消防署	※ 1		2					照 1	1		1	6
		祁答院分署			1						1		1	3
		西部消防署	※ 1		1			1	1		2	1	1	8
		計	5	1	6	1	1	1	1	2	9	5	4	36
	移 動 局	携 帯 型	消 防 本 部	8										
中央消防署			4	1	1	1				1	3			11
南 部 分 署			1		1		1							3
上 甌分駐所			2											2
下 甌分駐所			2											2
東部消防署			2		2						1			5
祁答院分署			2		1						1			4
西部消防署			2		1			1	1		1			6
計			23	1	6	1	1	1	1	1	6			41
合 計		28	2	12	2	2	2	2	3	15	5	4	77	

※ 携帯兼用

(2) 薩摩川内市消防団

H 22. 4. 1 現在

基 地 局		せんしょうだんほん ぶ 川 消 団本部		せんしょうだんより た 川 消 団寄田		
		せんしょうだんかみこしき 川 消 団上甌	せんしょうだんしもこしき 川 消 団下甌	せんしょうだん か し ま 川 消 団鹿島		
周 波 数		F3E 153.35MHZ				
設置場所	種 別	基 地 局	可 搬	車 載 用	携 帯 用	計
			固 定 兼 用			
消 防 本 部		5		1	8	14
市 防 災 安 全 課			1			1
消 防 団 長			1		1	2
団 長 付 本 部 員					1	1
大 隊 長					5	5
方 面 隊 長					9	9
副 方 面 隊 長					12	12
団 本 部 車				1		1
西 部 大 隊 車				1		1
東 部 大 隊 車				1		1
消 防 団 マ イ ク ロ バ ス				1		1
消 防 本 部 指 令 車				1		1
警 防 課 連 絡 車				1		1
上 甌 分 駐 所					1	1
下 甌 分 駐 所					1	1
川内南方面隊	川内中央南分団			4	1	5
	川 内 南 分 団			5	1	6
	平 佐 東 分 団			2	1	3
	高 江 分 団			1	1	2
川内北方面隊	川内中央北分団			4	1	5
	下 東 郷 分 団			2	1	3
	高 城 東 分 団			2	1	3
	城 上 分 団			2	1	3
東 郷 方 面 隊	東 郷 中 央 分 団			2	1	3
	東 郷 東 分 団			2	1	3
	東 郷 西 分 団			2	1	3

設置場所 \ 種 別		基 地 局	可 搬 固 定 兼 用	車 載 用	携 帶 用	計
川内西方面隊	水 引 分 団			2	1	3
	高 城 西 分 団			2	1	3
	川 内 西 分 団			3	1	4
樋 脇 方 面 隊	樋 脇 北 分 団			2	1	3
	樋 脇 中 央 分 団			2	1	3
	市 比 野 中 央 分 団			2	1	3
	市 比 野 南 分 団			2	1	3
入 来 方 面 隊	副 田 分 団			1	1	2
	清 色 分 団			1	1	2
	大 馬 越 分 団			1	1	2
	朝 陽 分 団			1	1	2
祁 答 院 方 面 隊	黒 木 分 団			1	1	2
	上 手 分 団			1	1	2
	下 手 分 団			2	1	3
	藺 牟 田 分 団			2	1	3
上 甕 方 面 隊	里 分 団			4	1	5
	上 甕 中 央 分 団			5	1	6
	浦 内 分 団			3	1	4
下 甕 方 面 隊	下 甕 北 分 団			8	1	9
	下 甕 南 分 団			6	1	7
	鹿 島 分 団			3	1	4
計		5	2	89	70	166

14. 無線設備分布図

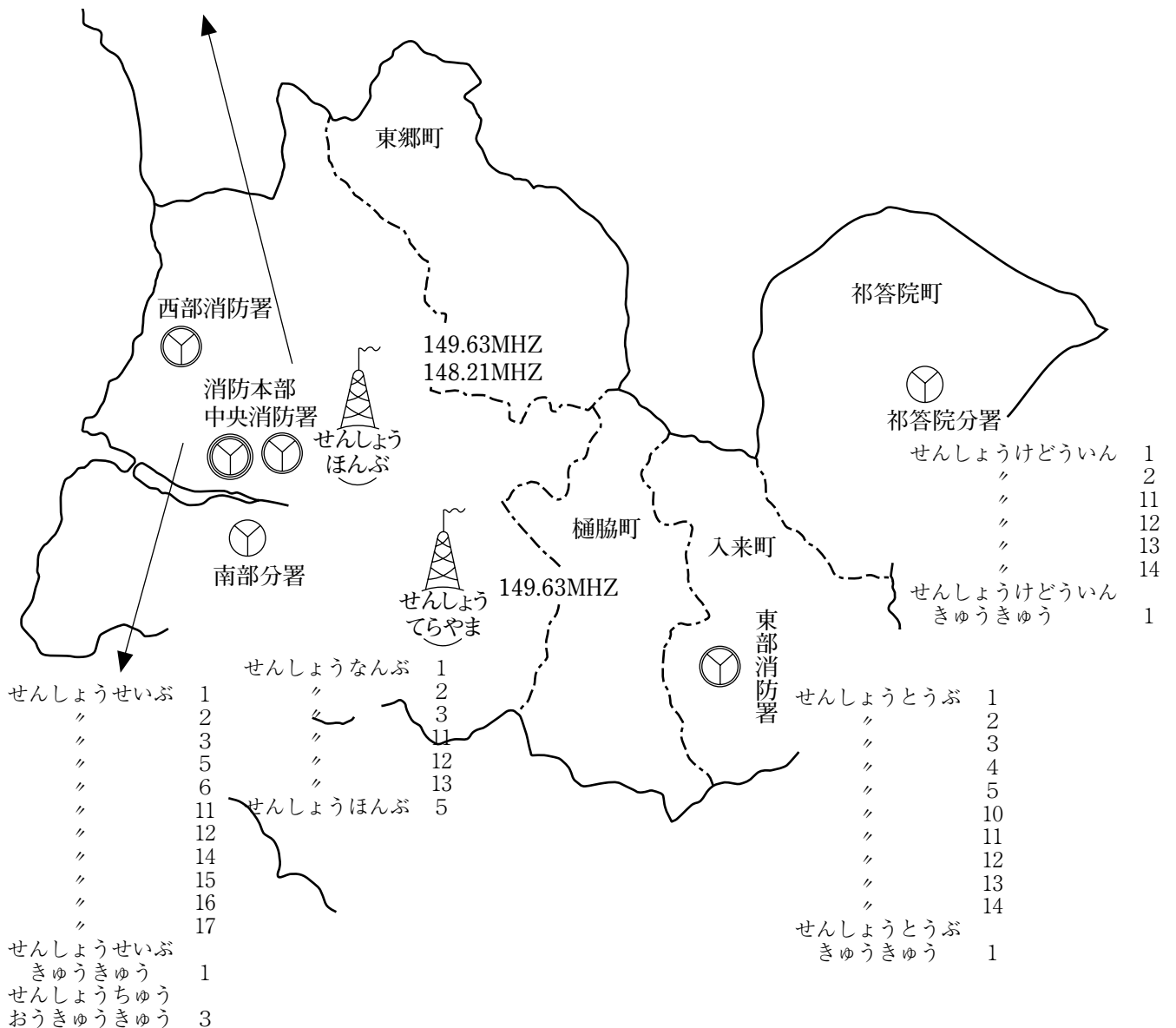
(1) 常備消防

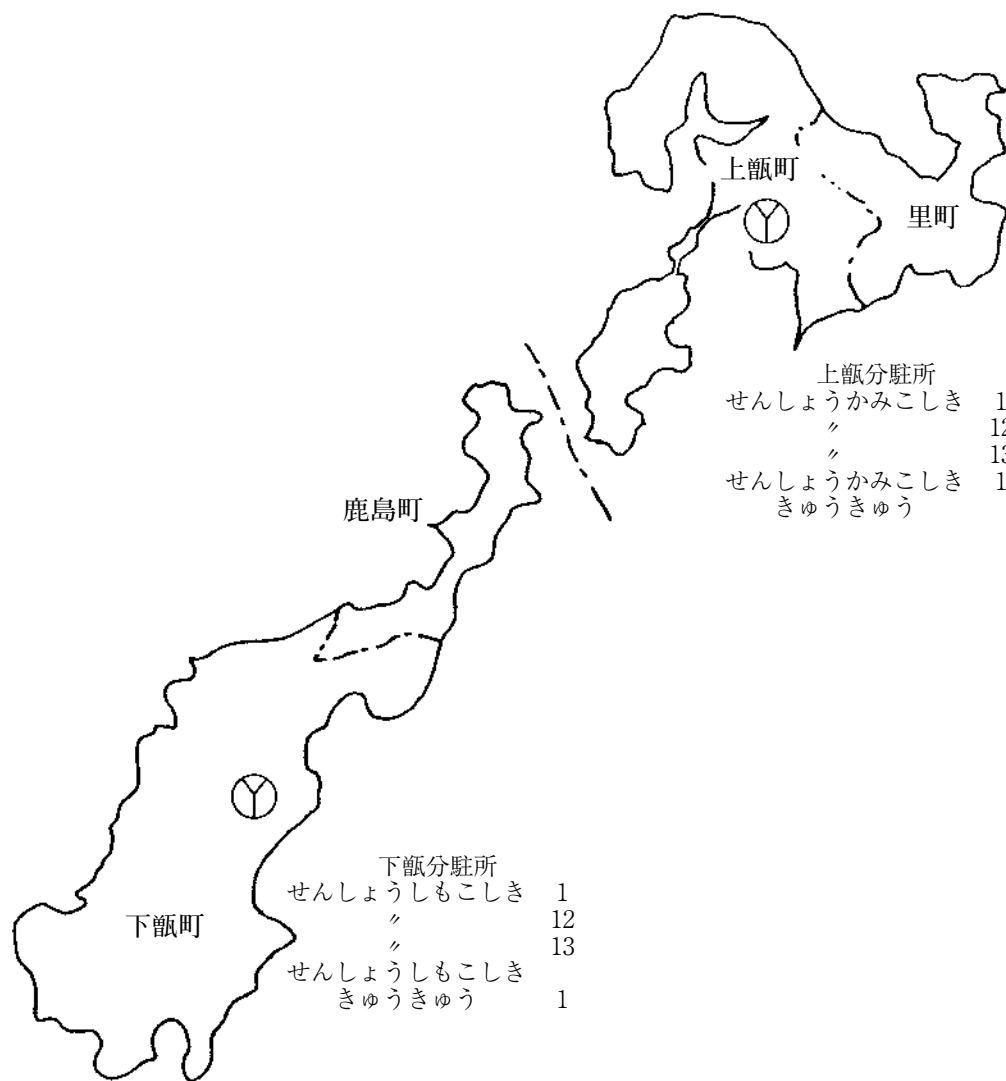
H 22. 4. 1 現在

せんしょうほんぶ	1
〃	2
〃	3
〃	4
〃	10
〃	11
〃	17
〃	21
〃	22
〃	23
〃	24
〃	25

せんしょうちゅうおう	1
〃	2
〃	3
〃	4
〃	5
〃	10
〃	11
〃	13
〃	14
〃	16
〃	17
〃	18
〃	19

せんしょうちゅうおう	1
きゅうきゅう	2
〃	4
〃	11
〃	12
〃	13





(2) 薩摩川内市消防団

H 22. 4. 1現在

設 置 場 所	呼 出 名 称	設 置 場 所	呼 出 名 称
消 防 本 部	せんしょうだん ほんぶしゃ3	東 郷 東 分 団	せんしょうだん やまだ1
市 防 災 安 全 課	せんしょうだん ほんぶ22～29		せんしょうだん とうごうひがし10
消 防 団 長	せんしょうだん しやくしゃ1	東 郷 西 分 団	せんしょうだん とりまる1
消 防 団 長	せんしょうだん ほんぶ1		せんしょうだん ふじかわ1
団 長 付 本 部 員	せんしょうだん ほんぶ10		せんしょうだん とうごうにし10
大 隊 長	せんしょうだん ちゅうおうほんぶ1	水 引 分 団	せんしょうだん みずひき1
	せんしょうだん せいぶほんぶ1		せんしょうだん みなと1
	せんしょうだん とうぶほんぶ1		せんしょうだん みずひき10
	せんしょうだん かみこしきほんぶ1	高 城 西 分 団	せんしょうだん ゆだ1
	せんしょうだん しもこしきほんぶ1		せんしょうだん にしかた1
方 面 隊 長	せんしょうだん せんだいまなみ1	川 内 西 分 団	せんしょうだん たきにし10
	せんしょうだん せんだいきた1		せんしょうだん ぐみざき1
	せんしょうだん とうごう1		せんしょうだん よりた1, 2
	せんしょうだん せんだいにし1		せんしょうだん せんだいにし10
	せんしょうだん ひわき1	樋 脇 北 分 団	せんしょうだん くら1
	せんしょうだん いりき1		せんしょうだん いわした1
	せんしょうだん けどういん1		せんしょうだん ひわききた10
	せんしょうだん かみこしき1	樋 脇 中 央 分 団	せんしょうだん とうのはら1
	せんしょうだん しもこしき1		せんしょうだん かわち1
	せんしょうだん せんだいまなみ2	市 比 野 中 央 分 団	せんしょうだん ひわきちゅうおう10
副 方 面 隊 長	せんしょうだん せんだいきた2		せんしょうだん いちひの1
	せんしょうだん とうごう2		せんしょうだん いちひのかみで1
	せんしょうだん せんだいにし2, 3		せんしょうだん いちひのちゅうおう10
	せんしょうだん ひわき2	市 比 野 南 分 団	せんしょうだん ふじもと1
	せんしょうだん いりき2		せんしょうだん のした1
	せんしょうだん けどういん2	副 田 分 団	せんしょうだん いちひのみなみ10
	せんしょうだん かみこしき2, 3		せんしょうだん そえだ1
	せんしょうだん しもこしき2, 3	清 色 分 団	せんしょうだん そえだ10
団 本 部 車	せんしょうだん ほんぶしゃ1		せんしょうだん きよしき1
西 部 大 隊 車	せんしょうだん せいぶだいたい1	大 馬 越 分 団	せんしょうだん きよしき10
東 部 大 隊 車	せんしょうだん とうぶだいたい1		せんしょうだん おおうまごえ1
消防団マイクロバス	せんしょうだん ほんぶしゃ2	朝 陽 分 団	せんしょうだん おおうまごえ10
消防本部指令車	せんしょうだん しれいしゃ2		せんしょうだん ちょうよう1
警 防 課 連 絡 車	せんしょうだん ほんぶしゃ4	黒 木 分 団	せんしょうだん ちょうよう10
上 甌 分 駐 所	せんしょうだん ほんぶ20		せんしょうだん くらき1
下 甌 分 駐 所	せんしょうだん ほんぶ21	上 手 分 団	せんしょうだん くらき10
川 内 中 央 南 分 団	せんしょうだん むこうだ1		せんしょうだん けどういんかみで1
	せんしょうだん みやざと1	下 手 分 団	せんしょうだん けどういんかみで10
	せんしょうだん ひらさちゅうおう1, 2		せんしょうだん しもで1, 2
	せんしょうだん ちゅうおうみなみ10		せんしょうだん しもで10
川 内 南 分 団	せんしょうだん くまのじょう1	藺 牟 田 分 団	せんしょうだん いむた1, 2
	せんしょうだん なかふくら1		せんしょうだん いむた10
	せんしょうだん みやざき1	里 分 団	せんしょうだん さとほくぶ1
	せんしょうだん ながとし1		せんしょうだん さとちゅうぶ1
	せんしょうだん ももつぎ1		せんしょうだん さとなんぶ1
	せんしょうだん みなみ10		せんしょうだん さとししよ1
平 佐 東 分 団	せんしょうだん ひらさひがし1, 2	上 甌 中 央 分 団	せんしょうだん さと10
高 江 分 団	せんしょうだん ひらさひがし10		せんしょうだん なかこしき1, 2
	せんしょうだん たかえ1		せんしょうだん えいし1
川 内 中 央 北 分 団	せんしょうだん たかえ10		せんしょうだん たいら1
	せんしょうだん おおしょうじ1		せんしょうだん かみこしきししよ1
	せんしょうだん ちゅうごう1		せんしょうだん かみこしきちゅうおう10
	せんしょうだん かみせんだい1	浦 内 分 団	せんしょうだん うらうち1, 2
下 東 郷 分 団	せんしょうだん かめやま1		せんしょうだん くわのうら1
	せんしょうだん ちゅうおうきた10		せんしょうだん うらうち10
	せんしょうだん しもとうごう1, 2	下 甌 北 分 団	せんしょうだん ながはま1, 2, 3
高 城 東 分 団	せんしょうだん しもとうごう10		せんしょうだん あおせ1, 2
	せんしょうだん たき1		せんしょうだん うちかわうら1
	せんしょうだん ようぜい1		せんしょうだん せせのうら1, 2
城 上 分 団	せんしょうだん たきひがし10	下 甌 南 分 団	せんしょうだん しもこしきた10
	せんしょうだん かみじょうかみ1		せんしょうだん てうち1, 2, 3
	せんしょうだん しもじょうかみ1		せんしょうだん かたのうら1, 2
東 郷 中 央 分 団	せんしょうだん じょうかみ10		せんしょうだん しもこしきししよ1
	せんしょうだん とうごうちゅうおう1, 2	鹿 島 分 団	せんしょうだん しもこしきみなみ10
東 郷 東 分 団	せんしょうだん とうごうちゅうおう10		せんしょうだん かしま1, 2
	せんしょうだん のうぜ1		せんしょうだん かしまししよ1
			せんしょうだん かしま10

15. 薩摩川内市消防局消防気象（本庁屋上）

H 21. 1. 1～H 21. 12. 31

気象別 月別	天 気				別		日 数		降 雨 量 (ミリ)	気 温 (℃)			湿 度 (%)			風 (m)		
	晴 天 日 数	曇 天 日 数	雨 天 日 数	降 雪 日 数	濃 霧 日 数	10 m 以上の風が吹いた日数	降雨10ミリ未満数	降雨10ミリ以上数		平 均	最 高	最 低	実 効 湿度 最低	平 均	最 低	最 大 風 速	最 多 風 向	風 の 平 均
1	13	12	6	1		17	28	3	118.5	7.5	19.8	- 1.6	63.7	72.8	33.7	17.4	N	1.6
2	15	10	3		4	11	21	7	256.0	11.5	21.8	1.0	56.4	73.6	15.9	22.1	NWW	1.7
3	16	13	2			12	25	6	239.0	12.4	24.6	2.1	58.8	71.0	18.8	17.2	NNW	1.8
4	21	8	1			16	27	3	112.5	16.2	28.5	2.9	59.4	69.2	26.2	17.8	NW	2.1
5	22	8	1			13	30	1	50.0	20.5	31.8	10.4	50.3	69.5	15.7	16.9	NW	2.1
6	14	12	4			9	24	6	268.5	24.4	32.8	16.0	64.7	78.0	23.1	17.9	WNW	2.2
7	17	12	2			13	27	4	158.0	28.0	35.2	19.9	55.7	80.2	51.8	16.2	S SW	2.4
8	27	4				6	31		21.0	29.2	35.9	20.7	66.3	74.6	35.0	14.0	WNW	1.8
9	25	5	1			5	26	4	98.0	26.4	35.3	16.0	61.6	69.6	19.5	16.5	E	1.5
10	22	5	4			11	28	3	70.0	19.6	31.5	10.0	39.1	72.8	13.7	20.3	NNW	1.3
11	14	12	4			9	26	4	202.5	15.0	27.0	4.7	58.4	74.0	33.7	18.1	NNW	1.3
12	14	13	4			11	26	5	114.5	9.4	20.5	- 0.8	64.2	74.2	34.4	18.3	N	1.4
計	220	114	32	1	4	133	319	46	1,708.5									
										平均	最高	最低	最低	平均	最低	最大	最多	平均
										18.3	35.9	- 1.6	39.1	73.3	13.7	22.1	NNW	1.8

1. 地域別救急出場状況

H 21. 1. 1 ~ H 21. 12. 31

種 別 \ 地域別	川 内	樋 脇	入 来	東 郷	祁 答 院	里	上 甌	下 甌	鹿 島	市 外	計	前 年
火 災	14	5		2	3						24	17
自 然 災 害												
水 難 事 故	2	1					2				5	3
交 通 事 故	234	26	16	22	16	2	1	3	1	1	322	302
労 働 災 害	9	1	1	3	3			1			18	25
運 動 競 技	20	10		5			3	1			39	23
一 般 負 傷	280	41	38	24	32	4	12	9	2	3	445	429
加 害	11		2			1					14	15
自 損 行 為	32	7	6		4	1					50	36
急 病	1,370	223	144	130	137	10	53	93	22	24	2,206	2,101
そ の 他	409	54	15	5	9	16	44	28	13	51	644	654
計	2,381	368	222	191	204	34	115	135	38	79	3,767	25
前 年	2,398	363	240	186	163	42	66	98	24	50	3,630	3,630

(種別のその他には転院搬送を含む)

2. 月別救急出場状況

H 21. 1. 1 ~ H 21. 12. 31

種別 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
火 災		6	1	5	3	1	2	2	2	2			24
自 然 災 害													
水 難 事 故					1			2				2	5
交 通 事 故	21	25	31	32	30	27	31	26	24	18	25	32	322
労 働 災 害	1		4	1	3		2	1	2	1	1	2	18
運 動 競 技	1	4	4	2	7	2	6	2	2	2	6	1	39
一 般 負 傷	27	30	41	28	43	29	34	44	43	41	34	51	445
加 害	2	2	1	1				3	4	1			14
自 損 行 為	6	3	4	7	2	4	1	5	5	4	3	6	50
急 病	251	157	156	194	176	157	170	224	173	159	163	226	2,206
そ の 他	55	44	43	42	71	49	49	62	51	65	46	67	644
計	364	271	285	312	336	269	295	371	306	293	278	387	3,767

(種別のその他には転院搬送を含む)

3. 診療科目別搬送状況

H 21. 1. 1 ～ H 21. 12. 31

診療科目 \ 区域等	管 医 療 機 内 関	管 医 療 機 外 関	合 計	構 成 比 (%)	前 年	前 年 比
内 科	1,327	78	1,405	40.0	1,368	37
循 環 器 科	199	35	234	6.7	248	△ 14
小 児 科	125	9	134	3.8	140	△ 6
外 科	429	39	468	13.3	442	26
整 形 外 科	516	45	561	16.0	520	41
脳 神 経 外 科	242	38	280	8.0	287	△ 7
脳 内 科	178	6	184	5.2	179	5
小 児 外 科	1	2	3	0.1	3	0
産 婦 人 科	24	24	48	1.4	58	△ 10
泌 尿 器 科	40	3	43	1.2	48	△ 5
皮 膚 科	7		7	0.2	8	△ 1
耳 鼻 咽 喉 科	9	5	14	0.4	12	2
眼 科	1	1	2	0.1	6	△ 4
精 神 科	23	6	29	0.8	22	7
そ の 他	90	7	97	2.8	68	29
合 計	3,211	298	3,509	100.0	3,409	100
構 成 比 (%)	91.5	8.5	100.0	—	—	—
前 年	3,147	262	3,409	—	—	—
前 年 比	64	36	100	—	—	—

その他とは・・・泌尿器内科等を含む。

また、ヘリ搬送や船による搬送で、他の消防機関により管外へ搬送された患者を含む。

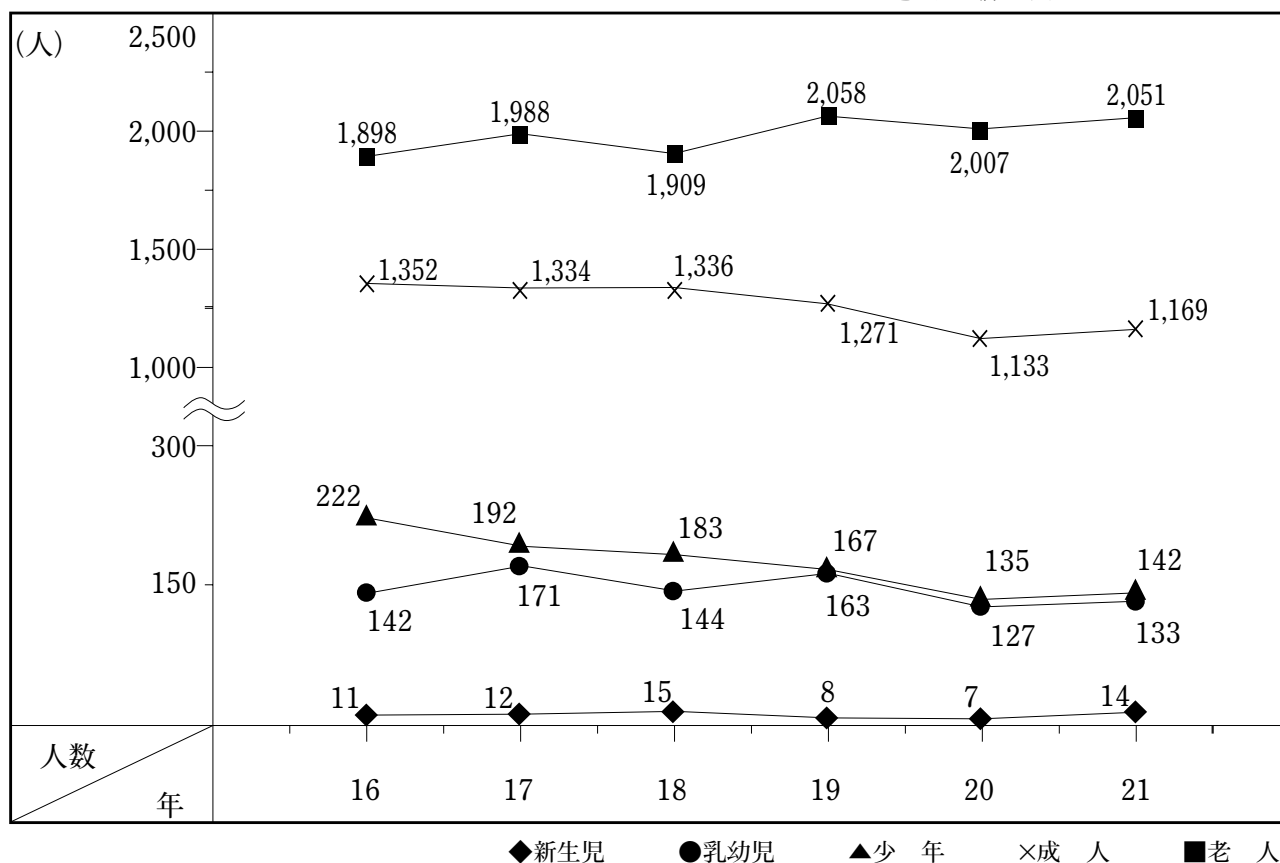
4. 年齢区分別搬送人員

H 21. 1. 1 ~ H 21. 12. 31

年齢区分 事故種別	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	老 人	合 計
火 災			1	3	3	7
自 然 災 害						
水 難		1			1	2
交 通 事 故		15	46	208	98	367
労 働 災 害				15	1	16
運 動 競 技			21	17	1	39
一 般 負 傷		20	16	101	285	422
加 害			1	10		11
自 損 行 為			2	25	2	29
急 病		83	49	606	1,303	2,041
転 院 搬 送	13	14	6	184	357	574
そ の 他	1					1
合 計	14	133	142	1,169	2,051	3,509
構 成 比 (%)	0.4	3.79	4.05	33.31	58.45	100.0
前 年	7	135	127	1,133	2,007	3,409
前 年 比	7	△ 2	15	36	44	100

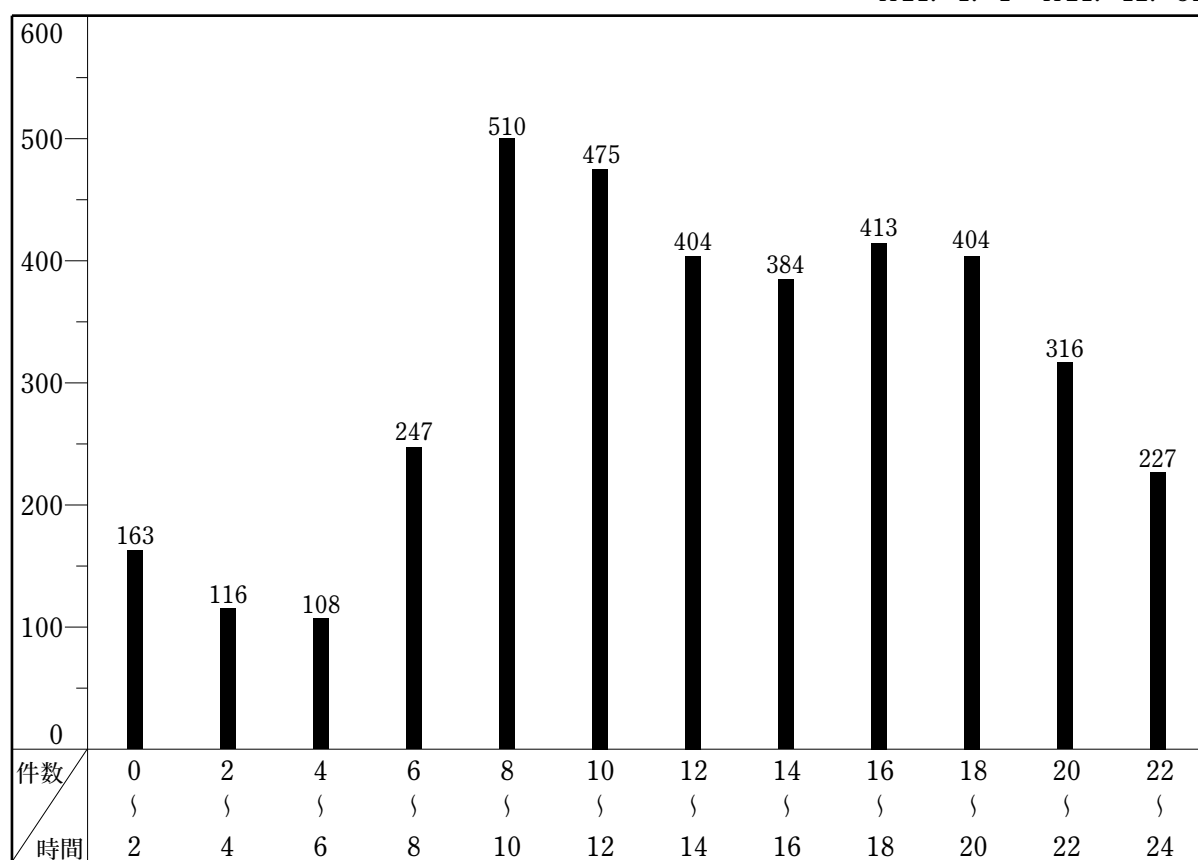
新生児 生後28日未満
 乳幼児 生後28日以上～満7歳未満
 少年 満7歳以上～満18歳未満
 成人 満18歳以上～満65歳未満
 老人 満65歳以上

【年齢区分別推移】



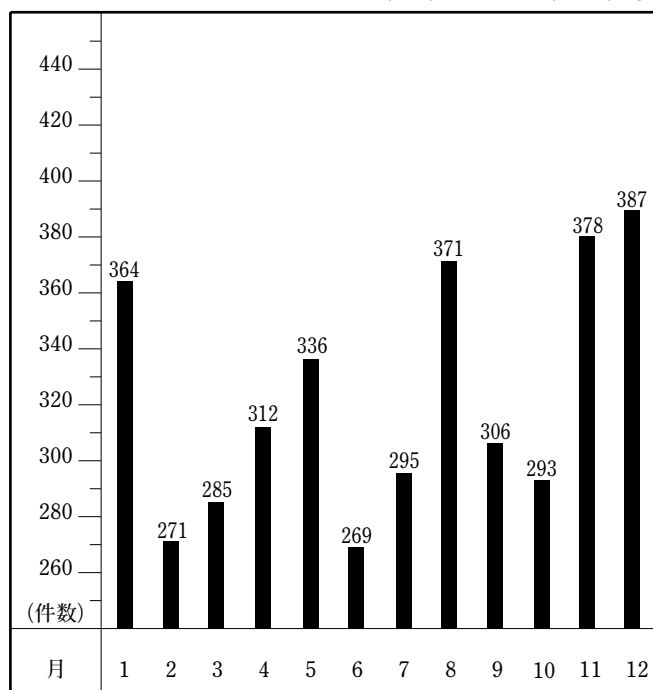
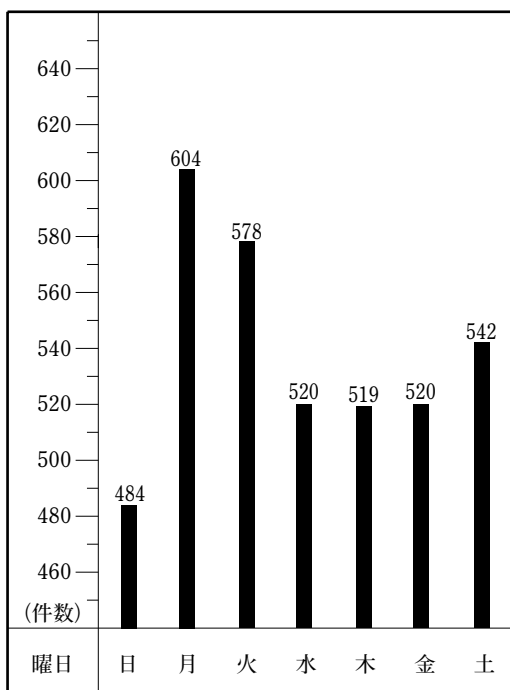
5. 時間別出場状況

H21. 1. 1～H21. 12. 31



6. 曜日・月別出場状況

H21. 1. 1～H21. 12. 31



7. 救急隊員の行なった応急処置状況（搬送者のうち）

H 21. 1. 1～H 21. 12. 31

事故種別		応急処置		急 病	交通事故	一般負傷	その他	合 計	前 年	前年比
血		止		4	12	38	10	64	57	7
定		固		4	67	35	27	133	137	△ 4
吸		人 工 呼		3			2	5	6	△ 1
ジ		心 マ ッ サ ー							3	△ 3
生		心 肺 蘇		58	2	6	9	75	75	0
入		酸 素 吸		604	19	29	186	838	919	△ 81
保		気 道 確		50	2	2	6	60	61	△ 1
		ただし、※1. 2. 3を除く								
温		保		99	10	23	32	164	216	△ 52
覆		被		5	85	114	18	222	174	48
動		除 細		10		1	1	12	21	△ 9
大 応 急 処 置	在 宅 療 法 継 続			3		1		4	4	0
	※1 経鼻エアウェイ			14	1	1	3	19	15	4
	咽 頭 鏡 ・ 鉗 子			3		1		4	7	△ 3
	シ ョ ッ ク パ ン ツ									
	血 圧 測 定			1,773	301	346	473	2,893	2,800	93
	聴診器による心音・呼吸音等聴取			343	43	33	37	456	410	46
	血中酸素飽和度測定			1,923	312	369	573	3,177	3,079	98
	心 電 図			930	26	62	160	1,178	991	187
	特 定 行 為	特	静脈路確保(輸液)	14	1	2	5	22	28	△ 6
		定 行 為	※2 コンビチューブ ラリngeアルマスク	6		3	1	10	10	0
			※3 気 管 挿 管	19		2	4	25	24	1
			薬 剤 投 与				2	2	3	△ 1
そ の 他 の 応 急 処 置				936	27	77	129	1,169	1,081	88
処 置 人 員				2,010	338	409	613	3,370	3,281	89
構 成 比				59.6	10.0	12.1	18.2	100.0		
搬 送 人 員 数				2,041	367	422	679	3,509	3,409	100

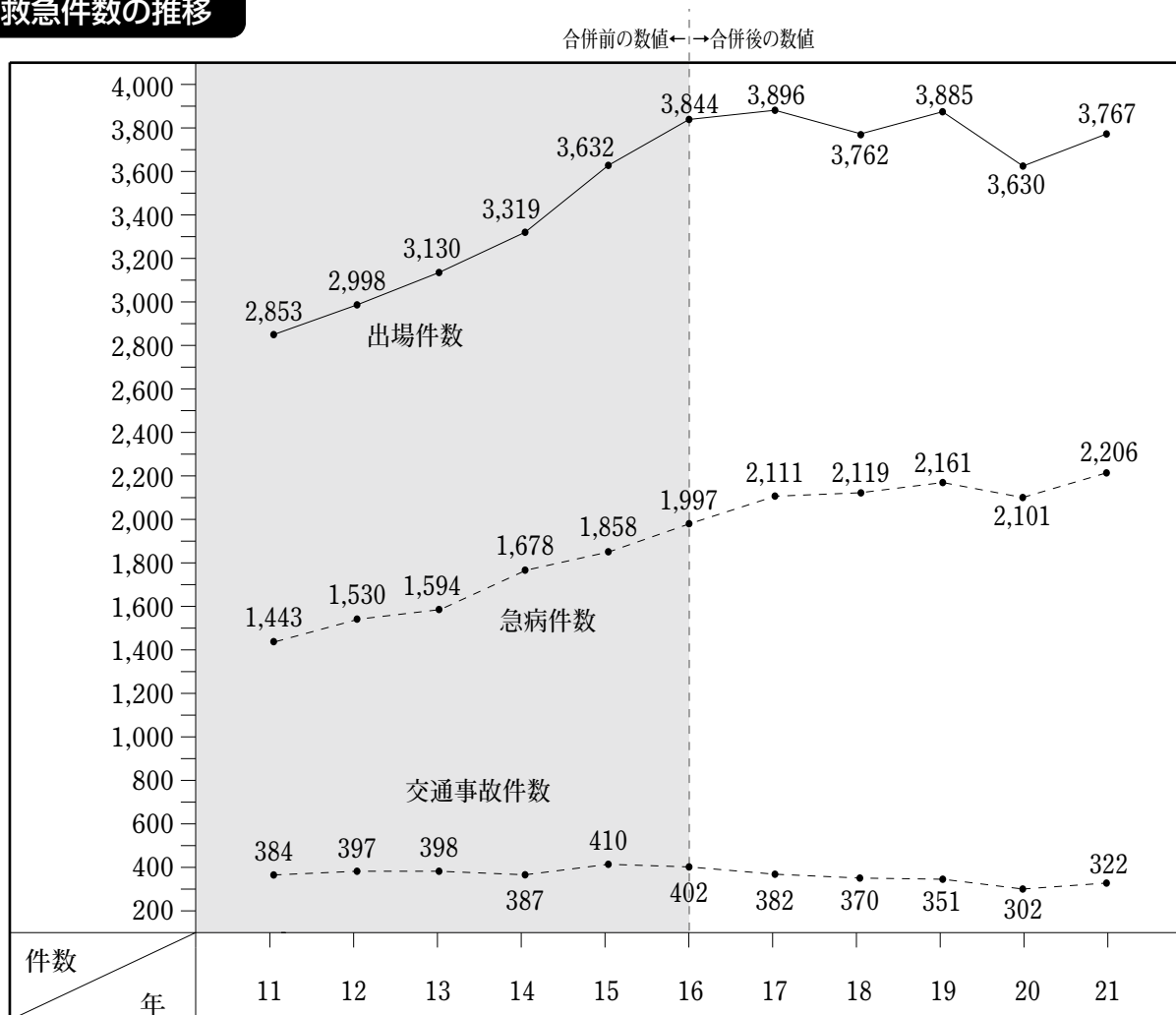
8. 不搬送原因別出場件数

H 21. 1. 1～H 21. 12. 31

不 搬 送 理 由	緊 急 性 高 な	傷 者 な	拒 否	酩 酊	死 亡	現 場 処 置	そ の 他	計
出 場 件 数	17	19	93	6	46	47	102	330

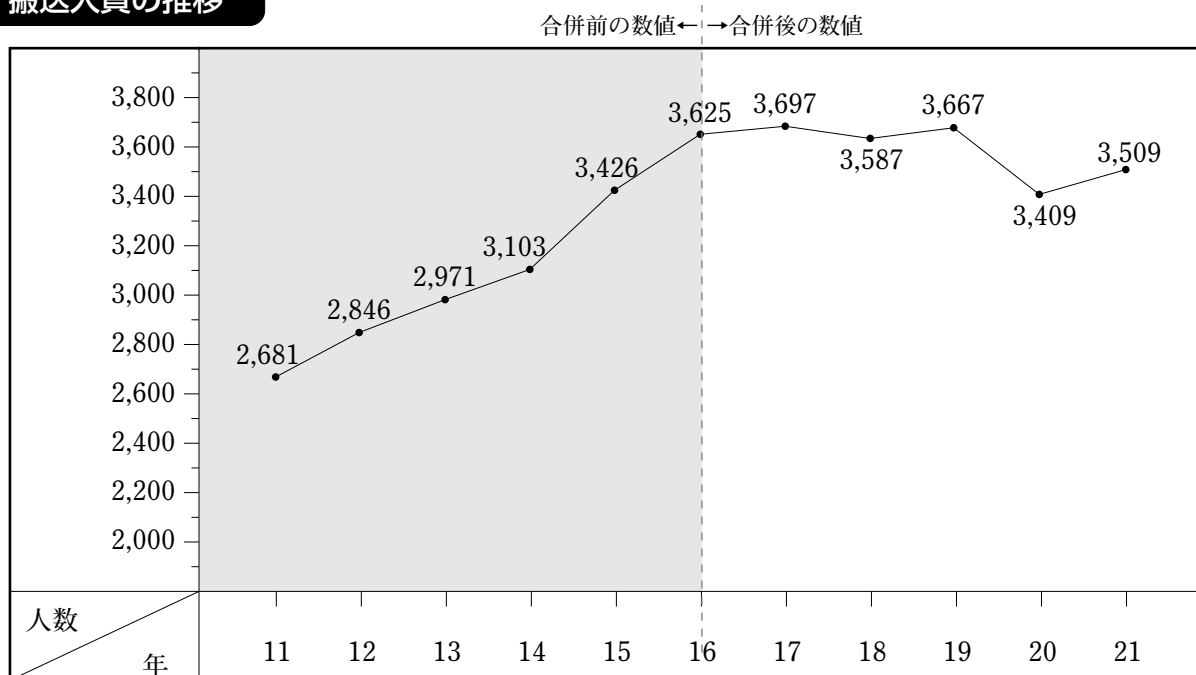
(その他には誤報いたずら含む)

9. 救急件数の推移



※合併前の数値（祁答院地区を除いたもの）

10. 搬送人員の推移



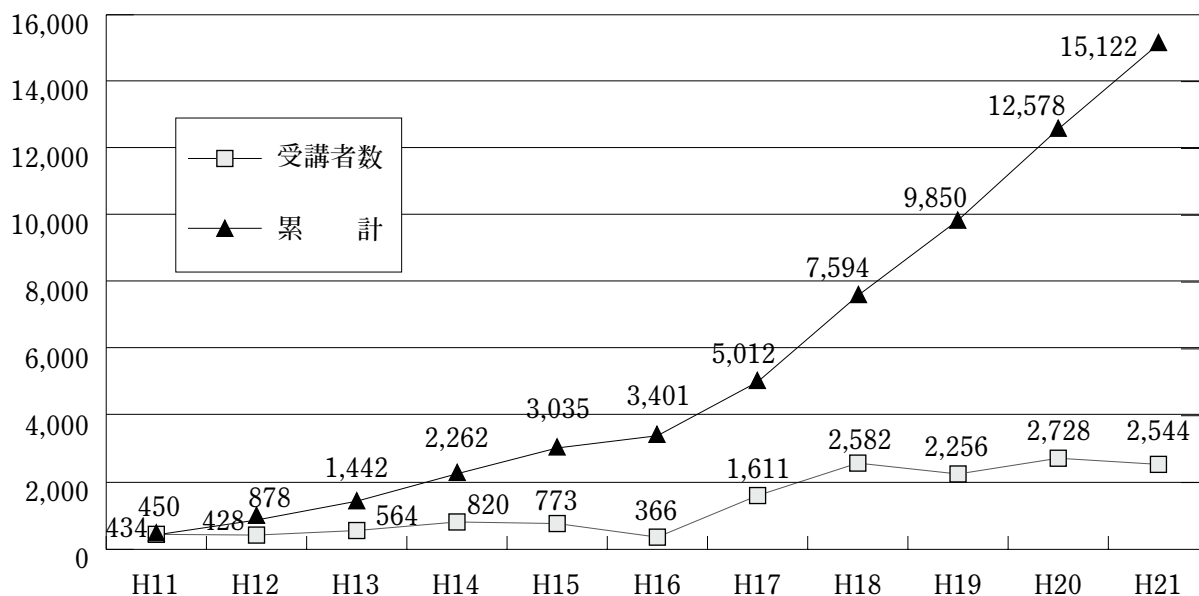
※合併前の数値（祁答院地区を除いたもの）

11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

年 区分	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
実施回数	15	17	25	37	38	25	82	145	116	142	130
受講者数	434	428	564	820	773	366	1,611	2,582	2,256	2,728	2,544
累 計	450	878	1,442	2,262	3,035	3,401	5,012	7,594	9,850	12,578	15,122
市民に占める 受講割合	0%	1%	1%	2%	3%	3%	5%	7%	10%	12%	15%

※ H17～AED（自動体外式除細動器）を含む講習にした

受講者数推移



12. CPA 患者社会復帰状況

年 区分	H17	H18	H19	H20	H21
CPA 患者数（搬送者）	84 人	66 人	98 人	77 人	78 人
バイスタンダー CPR	32.1%	36.4%	42.9%	40.3%	46.2%
蘇 生 率	0.0%	9.1%	17.3%	14.3%	14.1%
社 会 復 帰 率	0.0%	3.0%	6.1%	7.8%	5.1%

※ CPA…………… CardioPulmonary Arrest の略で、心肺停止のことをいう。

※ CPR…………… CardioPulmonary Resuscitation の略で、心肺蘇生法のことをいう。

※バイスタンダー……… 救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者等）。

※社会復帰…………… 心肺停止により救急搬送された人が、回復により歩いて退院したことをさす。

13. 事故種別救助活動状況

H 21. 1. 1 ~ H 21. 12. 31

事故種別 区分	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	そ の 他 の 事 故	計
出 場 件 数	4	32	2		2				10	50
活 動 件 数	4	22	2		1				7	36
救 助 人 員	1	25	4		1				7	38

・ 消防機関が救助活動を行う目的で出場した件数
 なお、火災の場合は消防機関が何らかの救助活動を行った件数

14. 事故種別出場及び活動車両状況

H 21. 1. 1 ~ H 21. 12. 31

事故種別 車両区分	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	そ の 他 の 事 故	計
救助工作車	4	29	2		2				9	46
	4	16	2						4	26
消防ポンプ 自 動 車	13	32	2		2				4	53
		17	2		1				4	24
はしご車及び 屈折はしご車			1							1
			1							1
指揮車及び 指 令 車	5	3	3						1	12
	1		3						1	5
救急自動車		42	2		1				9	57
		18	1		1				5	25
船 舶			1							1
			1							1
そ の 他	1	3	2						1	7
		2	2						1	5
消防団車両	3	2								5
		2								2
計	29	111	13		5				24	182
	5	55	12		2				15	89

・ 救助活動のために出場した車両等の台数

※上段 出動車両台数
 下段 活動車両台数

1. 薩摩川内市消防団の組織

薩摩川内市消防団は、消防局の中央消防署・西部消防署・東部消防署・上甕分駐所・下甕分駐所の管轄区域にリンクさせ、中央・西部・東部・上甕・下甕の5大隊を、その下に9方面隊・32分団を組織。また、女性団員は、団本部に専任の団体部付き女性部を、上甕・下甕大隊には、分団所属の女性団員で構成する併任の大隊付き女性部を置いている。

薩摩川内市消防団の組織

H 22. 4. 1 現在

		分団名称		部数	班数	団員数	所轄区域		
薩摩川内市消防団	中央 大隊 (大隊長)	団長付本部員		団本部付き女性部	1部	2班	20	団本部	
		川内南方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	川内中央南分団	4部	8班	69	川内・平佐西地区	
				川内南分団	4部	10班	68	隈之城・永利地区	
				平佐東分団	2部	4班	33	平佐東地区	
				高江分団	1部	2班	22	峰山地区	
		川内北方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	川内中央北分団	4部	8班	71	亀山・可愛・育英地区	
				下東郷分団	2部	4班	28	八幡地区	
				高城東分団	2部	4班	34	高来地区	
				城上分団	2部	4班	30	城上・吉川地区	
		東郷方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	東郷中央分団	2部	4班	47	斧淵地区	
				東郷東分団	2部	4班	35	南瀬・山田地区	
				東郷西分団	2部	4班	32	鳥丸・藤川地区	
	西部 大隊 (大隊長)	川内西方方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	水引分団	2部	4班	34	水引地区
					高城西分団	2部	4班	38	湯田・西方地区
川内西分団					2部	4班	33	滄浪・寄田地区	
東部 大隊 (大隊長)	樋脇方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	樋脇北分団	2部	4班	27	倉野・樋脇(上樋脇)地区	
				樋脇中央分団	2部	4班	32	樋脇(上樋脇を除く)地区	
				市比野中央分団	2部	4班	32	市比野地区	
				市比野南分団	2部	4班	27	藤本・野下地区	
	入来方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	副田分団	2部	4班	37	副田地区	
				清色分団	1部	2班	20	入来地区	
				大馬越分団	1部	2班	20	大馬越・八重地区	
				朝陽分団	1部	2班	21	朝陽地区	
	祁答院方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	黒木分団	1部	2班	22	黒木地区	
				上手分団	1部	2班	18	上手地区	
				下手分団	2部	4班	30	大村・轟地区	
				蘭牟田分団	2部	4班	30	蘭牟田地区	
上甕 大隊 (大隊長)	上甕方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	里分団	4部	7班	61	里地区	
				上甕中央分団	4部	7班	49	上甕(浦内を除く)	
				浦内分団	2部	4班	40	上甕(浦内)地区	
				上甕大隊付き女性部	1部	2班	実員(8)	分団所属で併任	
下甕 大隊 (大隊長)	下甕方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	下甕北分団	5部	10班	79	瀬々野浦・内川内・長浜・青瀬地区	
				下甕南分団	4部	7班	60	手打・片野浦地区	
				鹿島分団	3部	5班	46	鹿島地区	
				下甕大隊付き女性部	1部	2班	実員(9)	分団所属で併任	

団長 1 副団長 5 方面隊長 9 本部員 13 分団長 32 副分団長 32 部長 77 班長 150 団員 954 実員 1,273
 【副団長級】 【分団長級】 (内女性 57)
 (団長付本部員 1) 定員 1,329
 (副方面隊長 12)

2. 消防団員定数及び実員

H 22. 4. 1 現在

階級 区分	団 長	副団長	方面隊長	本部員 (副方面隊長)	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
定 数	1	5	9	13	32	32	77	151	1,009	1,329
実 員	1	5	9	13	32	32	77	150	954	1,273

3. 消防団員の年齢

H 22. 4. 1 現在

年 齢	18 歳以上 20 歳未満	20 歳以上 25 歳未満	25 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 35 歳未満	35 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 45 歳未満	45 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 55 歳未満	55 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	平均年齢
1,273 (57)	1 (0)	33 (1)	112 (6)	159 (9)	193 (4)	205 (8)	252 (16)	192 (6)	93 (4)	33 (3)	42.2 歳 (42.4)

() は女性団員

4. 方面隊別団員数

H 22. 4. 1 現在

区分 方面隊名	分 団 数	団 員 数 (人)	方面隊人口 (人)	世 帯 数 (世帯)	団員 1 人あたり 人口 (人)
川内南方面隊	4	192	37,800	16,488	196
川内北方面隊	4	163	29,132	12,791	178
東 郷 方 面 隊	3	114	5,787	2,459	50
川内西方面隊	3	105	5,134	2,567	48
樋 脇 方 面 隊	4	118	7,271	3,400	61
入 来 方 面 隊	4	98	5,610	2,568	57
祁答院方面隊	4	100	4,210	1,856	42
上 甕 方 面 隊	3	150	2,867	1,505	19
下 甕 方 面 隊	3	185	2,863	1,677	15

※団長・団本部・団本部付女性部の計 48 名を除く

5. 消防団員の勤続年数

H 22. 4. 1 現在

勤続年数	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上
1,273 (57)	353 (41)	254 (10)	265 (3)	176 (2)	119 (1)	72 (0)	34 (0)

() は女性団員

6. 消防団車両の概要

H 22. 4. 1 現在

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過 年数	ポンプ及び メーカー	備考
1		団本部	団本部	団本部	団本部車	トヨタ	鹿児島 88 す 9533	H10.11	12		
2				団本部	ひけし号	三菱	鹿児島 22 す 1060	H 4. 5	18		
3				団本部	支援車	三菱	鹿児島 88 す 7692	H 9. 3	13		
4			西部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 738	H 7. 9	15		
5			東部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 476	H 3.12	19		
6			上甕大隊	団本部	大隊車	スズキ	鹿児島 80 あ 682	H 7. 3	15		
7	中 央 大 隊	川内南	川内中央南	向田部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 3730	H13.11	9	A-2日本 ドライケミカル	
8				宮里部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4882	H 6. 7	16		
9				中央一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 618	H19.12	3	A-2日本機械	
10				中央二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8101	H 9. 9	13		
11			川内南	隈之城部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 3731	H13.11	9	A-2日本 ドライケミカル	
12				中福良部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4250	H 5.11	17		
13				宮崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 5972	H 7. 9	15		
14				永利部 永利班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 1069	H12. 1	10		
15				永利部 百次班	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8100	H 9. 9	13		
16			平佐東	一部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6234	H15.10	7		
17				二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8099	H 9. 9	13		
18			高江	高江部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 6283	H15.10	7	A-2日本 ドライケミカル	
19		川内北	川内中央北	大小路部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 5561	H15. 3	7	A-2日本 ドライケミカル	
20				中郷部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7052	H 8.10	14		
21				上川内部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7486	H16.11	6	A-2日本 ドライケミカル	
22				亀山部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7485	H16.11	6	A-2日本 ドライケミカル	
23			下東郷	一部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9545	H10.12	12		
24				二部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 859	H 8.10	14		
25			高城東	高城部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3864	H13.12	9		
26				陽成部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9546	H10.12	12		
27			城上	上城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 5971	H 7. 9	15		
28				下城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4238	H 5.11	17		
29		東郷	東郷中央	一部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 2592	H 3.10	19	A-2モリタ	
30					ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 233	S 63. 3	22		
31				二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 3675	H 5. 3	17		
32					ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 234	S 63. 3	22		
33			東郷東	南瀬部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 8087	H 9. 9	13	A-2日本 ドライケミカル	
34				山田部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 462	H11. 9	11	A-2日本機械	

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過 年数	ポンプ及び メーカー	備考
35	中央 大隊	東郷	東郷西	鳥丸部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 さ 2139	H12. 9	10	A-2 エレファント	
36				藤川部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 6018	H 7.10	15	A-2 モリタ	
37	西部 大隊	川内西	水引	水引部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3863	H13.12	9		
38				港部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3865	H13.12	9		
39			高城西	西方部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 9513	H10.12	12	A-2 日本 ドライケミカル	
40				湯田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2446	H12.12	10		
41			川内西	久見崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4881	H 6. 7	16		
42				寄田部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7053	H 8.10	14		
43					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 963	H 9. 9	13		
44	東 部 大 隊	樋脇	樋脇北	倉野部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 さ 6240	H15.10	7		
45				岩下部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 6210	H 7.12	15		
46			樋脇中央	塔之原部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 さ 693	H11.10	11	A-2 モリタ	
47				河内部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 6209	H 7.12	15		
48			市比野中央	市比野部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 2744	H 3.12	19	A-2 日本機械	
49					積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9347	H10.10	12		
50				上手部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 7363	H 9. 1	13		
51			市比野南	藤本部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 6344	H 8. 2	14		
52				野下部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 3496	H 4.12	18		
53		入来	副田	一部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 88 す 5156	H 6.11	16	A-2 モリタ	
54				二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7097	H 8.10	14		
55			清色	清色部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 407	H19. 9	3	A-2 吉谷機械	
56			大馬越	大馬越部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7239	H 8.12	14		
57			朝陽	朝陽部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 6191	H 7.11	15		
58		祁答院	黒木	1 部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 8652	H17.12	5	A-2 日本 ドライケミカル	
59			上手	1 部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 5196	H14.12	8	A-2 モリタ	
60			下手	1 部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 3782	H13.12	9	A-2 モリタ	
61				2 部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9544	H10.12	12		
62			蘭牟田	1 部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2028	H21.11	1	A-2 日本 ドライケミカル	
63				2 部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9543	H10.12	12		

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過 年数	ポンプ及び メーカー	備考
64	上 甌 大 隊	上甌	里	北部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2334	H12.11	10		
65				中部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2337	H12.11	10		
66				南部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 839	H11.11	11		
67				支所部	水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9738	H19. 1	3	A-2 GM いちほら	水 1.5t
68			上甌中央	中甌部	多機能型	いすゞ	鹿児島 880 す 2318	H22. 3	0	モリタ	
69					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 579	H20.12	2		
70				江石部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 522	H 4. 1	18		
71				平良部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 598	H 5.12	17		
72				支所部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 88 す 9711	H11. 2	11	A-2 モリタ	
73			浦内	浦内部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 681	H 7. 1	15		
74					ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 597	H 5.11	17		
75				桑之浦部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 599	H 5.12	17		
76	下 甌 大 隊	下甌	下甌北	長浜 1 部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 399	H19. 9	3	A-2 日本 ドライケミカル	
77				長浜 2 部	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 1289	H20.11	2	モリタ	
78					ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 876	H 8.12	14		
79				青瀬部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 6212	H 7.12	15		
80					ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 771	H 7.12	15		
81				内川内部	ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 973	H 9.12	13		
82				瀬々野浦部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9755	H11. 2	11		
83					P付ミニ積載車	スバル	鹿児島 80 あ 1086	H10.11	12		
84			下甌南	手打 1 部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7479	H16.11	6	A-2 モリタ	
85				手打 2 部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9547	H10.12	12		
86					ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 1077	H10.11	12		
87				片野浦部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 5153	H 6.12	16		
88					ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 772	H 7. 1	15		
89				支所部	ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 654	H 7. 9	15		
90			鹿島	1 部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9609	H18.12	4	A-2 日本機械	
91				2 部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6423	H15.12	7		
92					ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 451	H 3. 1	19		
93					ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 452	H 3. 1	19		
94				支所部	ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 1664	H15.12	7		

7. 小型ポンプの概要

H 22. 4. 1 現在

番号	大隊	方面隊	分団名	部 名	機種名	購入年月	型 式	ポンプ級	備 考
1	中 央 大 隊	団本部	団本部	団本部	トーハツ	13. 11	V C 62 A S	B - 3 級	
2		川内南	川内中央南	宮里部	シバウラ	15. 11	S F 656 M Z	〃	
3				中央二部	ラビット	20. 10	P 477	〃	
4			川内南	中福良部	シバウラ	7. 9	T F - 35	〃	
5				宮崎部	ラビット	12. 10	P 476	〃	
6				永利部永利班	ラビット	9. 11	P 455	〃	
7				永利部百次班	トーハツ	9. 9	V 46 B S	〃	
8			平佐東	一部	シバウラ	15. 11	S F 656 M Z	〃	
9				二部	ラビット	20. 10	P 477	〃	
10			高江	高江部	シバウラ	4. 12	T F - 35	〃	
11		川内北	川内中央北	中郷部	トーハツ	13. 11	V C 62 A	〃	
12			下東郷	一部	ラビット	12. 10	P 476	〃	
13				二部	ラビット	12. 10	P 476	〃	
14			高城東	高城部	トーハツ	17. 3	V C 62 B S	〃	
15				陽成部	トーハツ	17. 3	V C 62 B S	〃	
16			城上	上城上部	ラビット	13. 11	P 476	〃	
17				下城上部	ラビット	9. 12	P 455	〃	
18		東郷	東郷中央	一部	シバウラ	10. 6	S F 656 M H	〃	
19				二部	トーハツ	5. 3	V 46 A S	〃	
20					ラビット	9. 7	P 455	〃	
21			東郷東	南瀬部	トーハツ	11. 7	V 46 B S	〃	
22				山田部	ラビット	9. 7	P 455	〃	
23			東郷西	鳥丸部	シバウラ	10. 6	S F 656 M H	〃	
24				藤川部	シバウラ	15. 8	S F 656 M Z	〃	
25	西 部 大 隊	川内西	水引	水引部	ラビット	12. 10	P 476	〃	
26				港部	トーハツ	17. 3	V C 62 B S	〃	
27			高城西	西方部	シバウラ	7. 9	T F - 35	〃	
28				湯田部	シバウラ	10. 12	S F 661	〃	
29			川内西	久見崎部	ラビット	8. 10	P 408 R	〃	
30				寄田部	トーハツ	13. 11	V C 62 A	〃	
31					トーハツ	9. 9	V 46 B S	〃	

番号	大隊	方面隊	分団名	部 名	機種名	購入年月	型 式	ポンプ級	備 考
32	東 部 大 隊	樋脇	樋脇北	倉野部	トーハツ	13. 11	V C 52 A S	B - 3 級	
33					トーハツ	62. 9	V 50 C	〃	
34				岩下部	ラビット	18. 1	P 476 B	〃	
35			樋脇中央	河内部	ラビット	9. 12	P 455	〃	
36					ラビット	62. 3	P 408 R	〃	
37			市比野中央	市比野部	ラビット	10. 10	P 555	〃	
38				上手部	シバウラ	6. 11	S F 655 M	〃	
39					トーハツ	59. 9	V 50	〃	
40			市比野南	藤本部	シバウラ	21. 12	S F 656 A Z	〃	
41					トーハツ	5. 12	V 46 A S	〃	
42				野下部	ラビット	16. 8	P 476 A	〃	
43					トーハツ	7. 12	V 46 A S	〃	
44		入来	副田	二部	トーハツ	12. 11	V C 62 A S	〃	
45			大馬越	大馬越部	トーハツ	12. 7	V C 62 A S	〃	
46			朝陽	朝陽部	シバウラ	9. 7	S F 660 M H	〃	
47		祁答院	黒木	1 部	ラビット	13. 9	P 476	〃	
48			上手	1 部	ラビット	10. 12	P 476	〃	
49			下手	2 部	ラビット	10. 12	P 476	〃	
50			藺牟田	2 部	ラビット	10. 12	P 476	〃	
51	上 甕 大 隊	上甕	里	北部	ラビット	10. 11	P 455	〃	
52				中部	ラビット	8. 11	P 450	〃	
53				南部	ラビット	12. 12	P 455	〃	
54			上甕中央	中甕部	トーハツ	6. 12	V 4601	〃	
55					トーハツ	20. 12	V C 62 B S	〃	
56				江石部	ラビット	7. 1	P 450	〃	
57				平良部	シバウラ	21. 12	S F 656 A Z	〃	
58			浦内	浦内部	シバウラ	21. 12	S F 656 A Z	〃	
59					ラビット	5. 12	P 450	〃	
60				桑之浦部	ラビット	7. 1	P 450	〃	

番号	大隊	方面隊	分団名	部 名	機種名	購入年月	型 式	ポンプ級	備 考
61	下 甌 大 隊	下甌	下甌北	長浜２部	トーハツ	20. 11	V F 53 A S	B－３級	
62					シバウラ	20. 9	S F 756 A Z	〃	
63				青瀬部	ラビット	7. 12	P 450 S	〃	
64					ラビット	7. 12	P 450 S	〃	
65				内川内部	ラビット	9. 11	P 450 S	〃	
66				瀬々野浦部	ラビット	10. 11	P 408 R E	〃	
67					ラビット	9. 11	P 455	〃	
68			下甌南	手打２部	ラビット	10. 10	P 457	〃	
69					ラビット	21. 12	S F 656 A Z	〃	
70				片野浦部	ラビット	6. 11	P 450 M	〃	
71					ラビット	7. 12	P 450 R S	〃	
72				支所部	ラビット	9. 12	P 455	〃	
73			鹿島	２部	ラビット	15. 12	P 455 A	〃	
74					ラビット	9. 12	P 440 S	〃	
75					ラビット	18. 1	P 476 B	〃	
76					ラビット	7. 12	P 450 S	〃	
77					ラビット	13. 9	P 455 A	〃	
78					ラビット	16. 9	P 455 A S	〃	
79					ラビット	16. 11	P 455 A S	〃	
80				支所部	ラビット	15. 9	P 455 A	〃	

8. その他、消防行政協力団体

(1) 薩摩川内市危険物安全協会

(組 織)

H 22. 4. 1 現在

会 長	副 会 長	評 議 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1 名	3 名	10 名	2 名	1 名	125 事業所	9 事業所

(事 業)

1. 消防思想の普及高揚と災害予防対策
 - (1) 災害事故例等参考資料の配布
 - (2) 法令改正等研修
 - (3) 危険物保全に関する啓発及び指導
 - (4) 先進地視察及び災害現場視察
 - (5) 自衛消防隊消火競技大会の実施
- (6) 普通救命講習会の開催
- (7) 接地抵抗計、訓練用消火器の貸出し
2. 会員相互の親睦
3. 危険物取扱者及び事業所の表彰
4. 薩摩川内市管内危険物取扱事業所の本会への加入促進
5. その他本会の目的達成に必要な事業

(予 算)

歳 入

平成 22 年度 (単位：円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
935,500	0	319,568	10,000	1,265,068

歳 出

会 議 費	事 業 費	事 務 費	県危協負担金	雑 費	予 備 費	計
245,000	455,000	400,000	125,000	10,000	30,068	1,265,068

(2) 薩摩川内市防火管理協会

(組 織)

H 22. 4. 1 現在

会 長	副 会 長	理 事	監 事	正 会 員	賛 助 会 員
1 名	4 名	24 名	2 名	377 事業所	10 事業所

(事 業)

1. 防火管理者の育成及び消防（防火）思想の普及高揚
2. 防火管理者及び防災担当者の研修会、講習会等
3. 自衛消防隊消火競技大会の実施
4. 普通救命講習会の開催
5. 防火ポスター展の実施
6. 各種災害の予防対策の研究
7. 消防施設の維持管理の指導及び保守点検
8. 協会紙の発行
9. 優良会員事業所等の表彰
10. その他本会の目的達成上必要なこと

(予 算)

歳 入

平成 22 年度 (単位：円)

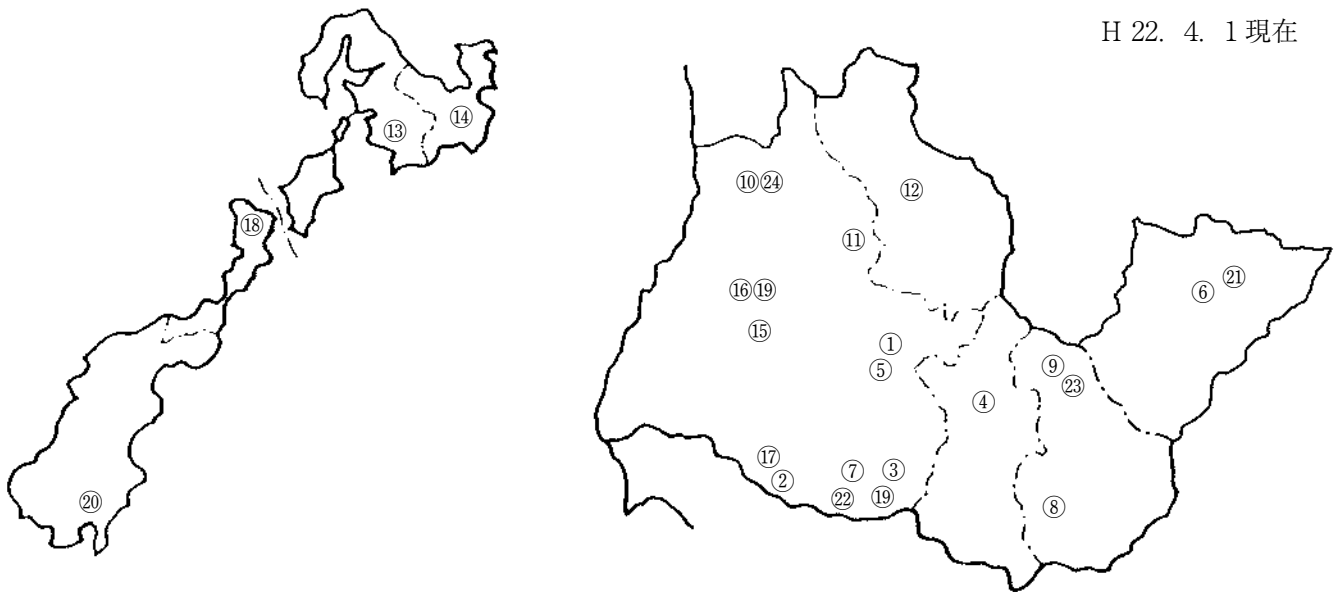
会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
1,642,000	0	354,313	1,000	1,997,313

歳 出

会 議 費	事 業 費	事 務 費	雑 費	予 備 費	計
300,000	980,000	600,000	3,000	114,313	1,997,313

● 消防クラブ結成状況

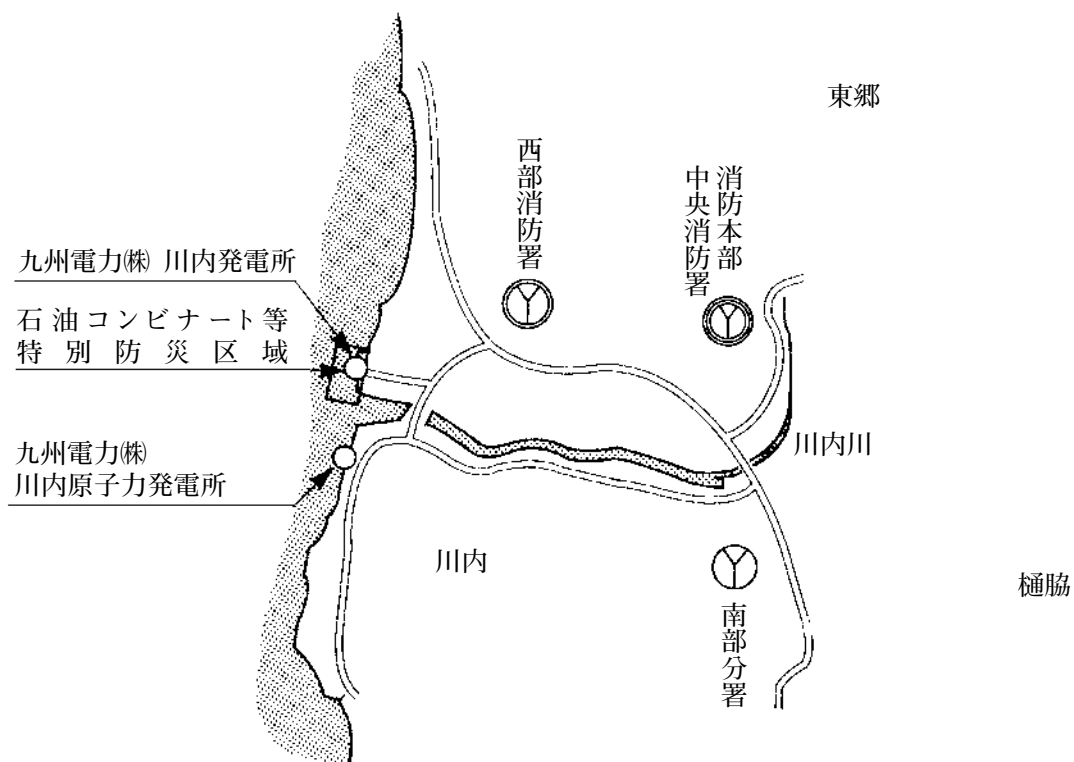
H 22. 4. 1 現在



番号	ク ラ ブ 名	結成年月日	人員	所 在 地
1	平 佐 保 育 園 幼 年 消 防 隊	S 58. 4.30	137	平佐町 3879 番地 2
2	青 山 幼 稚 園 幼 年 消 防 隊	S 59.10.22	92	青山町 4194 番地
3	永 利 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	S 59.11. 1	128	百次町 1069 番地 22
4	善 福 寺 保 育 園 幼 年 防 火 ク ラ ブ	S 59.11. 1	69	樋脇町塔之原 1177 番地
5	川 内 幼 稚 園 幼 年 消 防 隊	S 60. 4.22	86	平佐町 3590 番地 2
6	祁 答 院 幼 稚 園 幼 年 防 火 ク ラ ブ	S 60.10. 1	33	祁答院町下手 255 番地
7	勝 目 保 育 園 幼 年 消 防 隊	S 61.10.27	34	勝目町 5315 番地 71
8	入 来 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	S 61.11.15	33	入来町浦之名 7517 番地 3
9	浄 国 寺 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	H 11. 4. 1	62	入来町副田 5752 番地
10	西 風 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	H 11. 4. 2	19	西方町 2605 番地 1
11	育 英 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	H 11.12. 1	85	中郷 4 丁目 187 番地
12	東 郷 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	H 12. 1.11	108	東郷町斧淵 4773 番地 2
13	中 津 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	H 13. 5.21	23	上甕町中甕 253 番地
14	里 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	H 13. 6.19	30	里町里 1650 番地 1
15	高 江 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	H 15. 1.15	54	高江町 1901 番地
16	水 引 保 育 園 幼 年 消 防 隊	H 15. 8. 1	47	水引町 4795 番地
計		1,040 名		
17	青 山 少 年 消 防 ク ラ ブ	S 58.11. 3	12	青山町 4222 番地 14
18	鹿 島 少 年 消 防 ク ラ ブ	H 3. 5.22	13	鹿島町藺牟田 1397 番地
19	川 内 精 舎 少 年 消 防 ク ラ ブ	H 11. 5. 1	23	百次町 649 番地 1
計		48 名		
20	下 甕 女 性 防 火 ク ラ ブ	S 58. 3. 1	12	下甕町手打 532 番地 3
21	祁 答 院 幼 稚 園 女 性 防 火 ク ラ ブ	S 60.10. 1	30	祁答院町下手 255 番地
22	勝 目 保 育 園 女 性 消 防 ク ラ ブ	S 63. 1.23	31	勝目町 5315 番地 71
23	副 田 女 性 防 火 ク ラ ブ	H 9. 5. 1	15	入来町副田 5857 番地
24	西 方 女 性 防 火 ク ラ ブ	H 12. 2. 1	16	西方町 2413 番地
計		104 名		
合 計		1,192 名		

9. 特 殊 施 設

H 22. 4. 1 現在



◎ 九州電力(株) 川内発電所

総合出力 1,000,000kw

1号機 500,000kw

2号機 500,000kw

附帯施設

重油タンク 30,000 kℓ 1基

原油タンク 30,000 kℓ 3基

軽油タンク 300 kℓ 2基

アンモニア { 15 t 1基
10 t 1基

◎ 九州電力(株) 川内原子力発電所

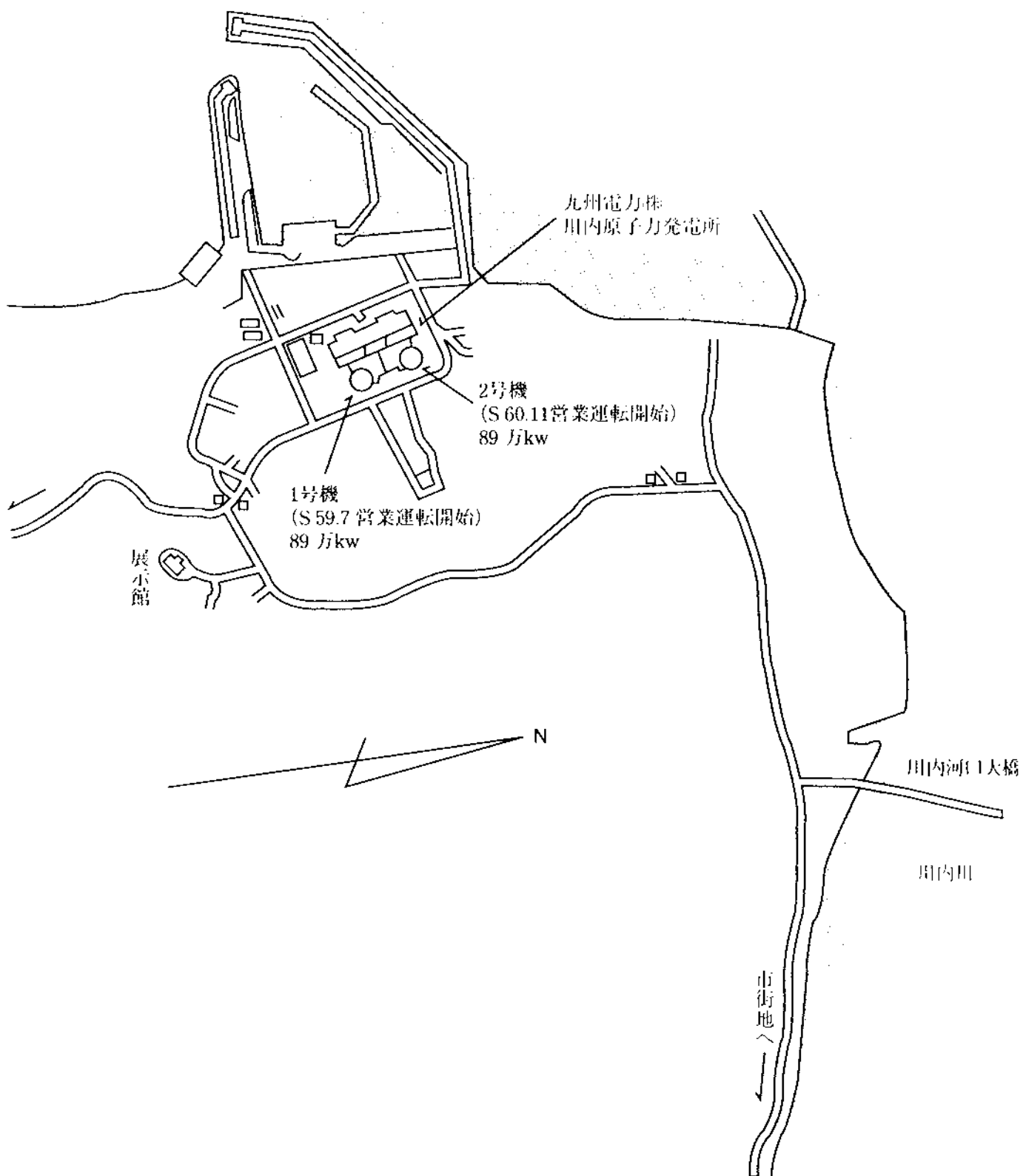
総合出力 1,780,000kw

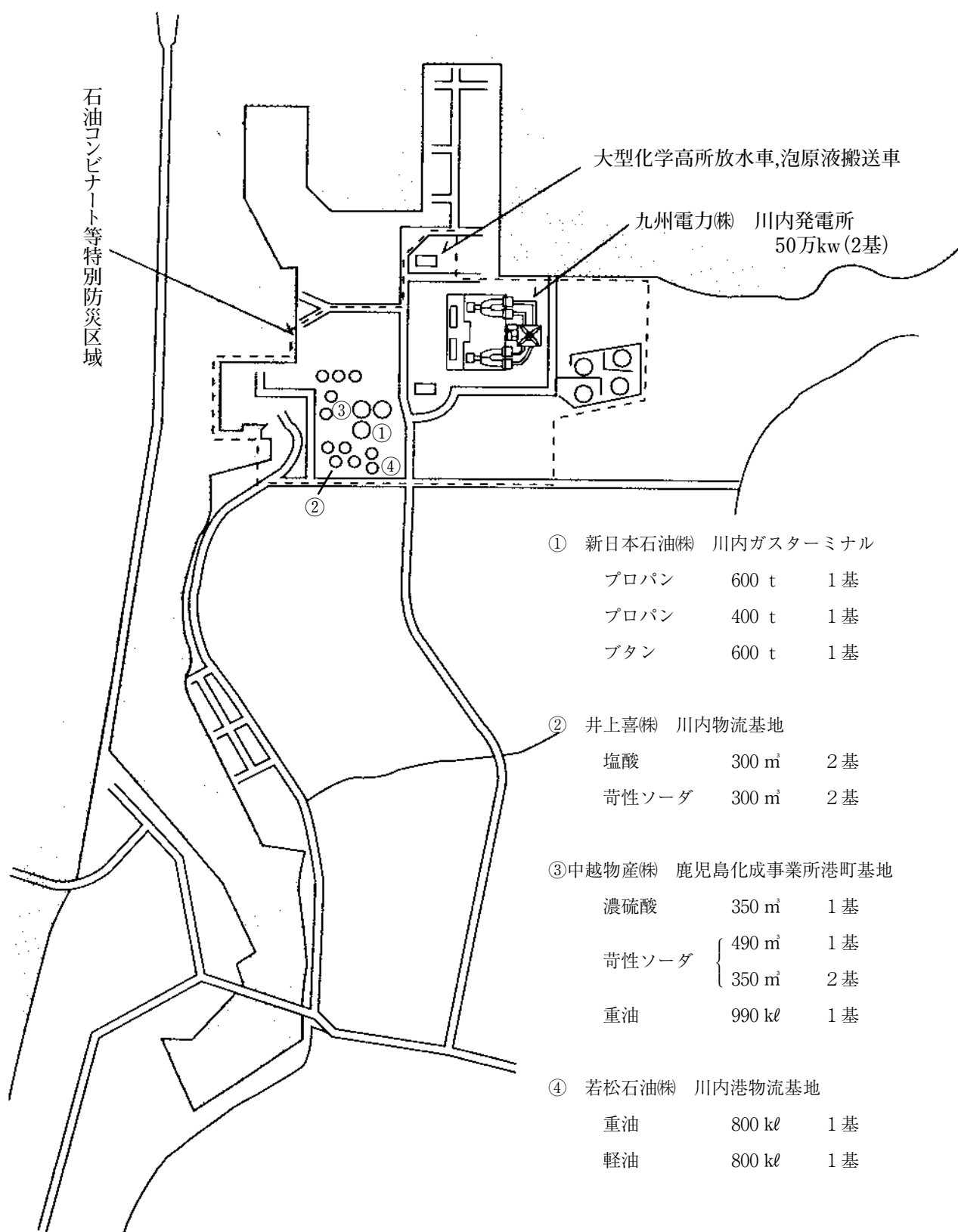
1号機 890,000kw

2号機 890,000kw

原 子 炉 低濃縮二酸化ウラン

軽水減速・軽水冷却加圧水型 2基





付 録

1. 消防本部・署の沿革（川内市消防本部）

年	月	概	要
昭和 26年	4月 1日	消防本部を創設（初代消防長 近藤磨瑳雄（団長兼務）以下 9 人）	
昭和 27年	11月 13日	自動車ポンプを購入（消防長以下 18 人）	
昭和 32年	10月 20日	気象観測開始	
昭和 33年	1月	自動車ポンプを購入（人口 62,492 人，職員 27 人，自動車ポンプ 2 台）	
昭和 34年	11月 10日	消防署を創設（近藤消防長，初代署長を兼務）	
昭和 35年	6月 30日	近藤消防長（署長）退任，第 2 代消防長に仮屋重夫市助役が消防長事務取扱として就任	
昭和 36年	3月 1日	第 2 代消防署長に須田清春就任	
昭和 37年	4月 1日	大小路分遣隊を新設（職員 9 人，自動車ポンプ 1 台）	
	5月 17日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
昭和 39年	3月 25日	消防無線開設（基地 1，移動 3 台）	
昭和 41年	12月 15日	須田清春署長が第 3 代消防長に，平瀬松次次席が第 3 代署長に就任	
昭和 43年	4月 15日	平瀬署長退任（須田消防長，第 4 代署長を兼務）	
	5月 1日	救急業務開始（職員 41 人，自動車ポンプ 4 台，救急車 1 台）	
昭和 45年	12月 28日	須田消防長（署長）退任，児玉篤信市助役が第 4 代消防長事務取扱となる	
昭和 46年	1月 9日	平山武徳次席が第 5 代署長に就任	
	7月 7日	平山武徳次長兼署長に就任	
	9月 30日	児玉消防長事務取扱が退任，横山正元市長が第 5 代消防長事務取扱に就任	
昭和 47年	1月 17日	梯子車（24 m）を購入（職員 53 人，自動車ポンプ 3 台，救急車 1 台）	
昭和 48年	9月 1日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける	
	9月 18日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける	
昭和 49年	9月 28日	横山消防長事務取扱が退任，福壽十喜市長が第 6 代消防長事務取扱に就任	
昭和 50年	1月 7日	平山次長 署長の兼務を解き，浜田博之第 6 代署長に就任	
	3月 20日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
	6月 23日	平山次長退任	
	11月 3日	日乃出屋より器具車の寄贈を受ける（職員 54 人，本部車 1 台，自動車ポンプ 3 台，梯子車 1 台，救急車 2 台，器具車 1 台）	
	12月 1日	十島良郎次長に就任	
昭和 53年	4月 1日	川内市中郷町 2，023 に新庁舎落成移転，同時に大小路分遣隊は市役所庁舎に移転，向田分遣隊と改称	
	5月 15日	川内信用金庫より消防指揮車の寄贈を受ける	
昭和 54年	7月 20日	京都セラミックより救急車の寄贈を受ける	
昭和 55年	3月 3日	浜田署長退任，堀之内成夫第 7 代署長に就任	
	11月 20日	十島次長退任，堀之内成夫次長兼署長に就任	
	11月 26日	タイヨーより救急車の寄贈を受ける	
昭和 56年	1月 20日	堀之内次長兼務を解き署長	
	1月 26日	福壽消防長事務取扱退任，山本孝一第 7 代消防長に就任	

川内地区消防組合

年	月	概	要
昭和 56年	4月 1日	1 市 3 町 4 村を構成員とする川内地区消防組合発足 条例定数 105 人 実員 76 人 管理者 福壽十喜 助役 仁礼国市 収入役 松永富男 初代消防長 山本孝一 向田分遣隊を中央消防署南部分署と改称	
	7月 15日	川内地区消防組合紋章・組合旗の制定	
	12月 1日	土地区画整理事業により、消防本部・署の所在地町名地番変更 (川内市原田町 185 番地)	
昭和 57年	2月 10日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受ける	
	2月 24日	中央消防署上甕・下甕分駐所庁舎及び消防吏員待機宿舎完成	
	3月 31日	救急指令装置を B 型電子式に整備・無線局寺山公園中継局設置 中央消防署上甕・下甕分駐所開所 各所に職員 6 人・救急車 1 台配備	
昭和 58年	1月 28日	中央消防署車庫新築（鉄骨スレート葺 32 m ² ）	
	3月 11日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける	
	3月 18日	東部消防署庁舎完成（入来町浦之名 727 番地 2）	
	3月 19日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受ける	
	4月 1日	東部消防署開署（職員 11 人、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台、指揮車 1 台配備）	
	10月 1日	東部消防署に職員 6 人を増置、17 人とする コーアガス鹿児島・南日本ガスより指令車の寄贈を受ける	
	11月 1日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける	
昭和 59年	1月 26日	管理者 福壽十喜 急逝	
	3月 12日	仁礼国市第 2 代管理者に就任	
	3月 26日	西部消防署庁舎完成（川内市水引町 3397 番地 2）	
	4月 1日	西部消防署開署（職員 13 人、大型高所放水車 1 台、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台、指揮車 1 台配備）	
	7月 1日	萩迫良和第 2 代助役に就任	
	8月 28日	日本消防協会より電源照明用資機材搬送車の寄贈を受ける	
	10月 1日	西部消防署に職員 4 人を増置、17 人とする	
	11月 1日	中央消防署通信指令室にファクシミリ設置	
昭和 60年	2月 27日	中央消防署倉庫新築（鉄骨スレート葺 2 階建 延面積 64 m ² ）	
	2月 28日	寺山無線中継局に遠方監視装置増設	
	4月 1日	条例定数改正 119 人 実員 108 人	
昭和 60年	12月 3日	三井液化ガスより指揮車の寄贈を受ける	
	12月 25日	救急業務用地図等検索装置（光ディスク方式）購入	
昭和 61年	4月 1日	消防本部警防課に通信指令係を新設（職員 3 人）	
	4月 18日	消防組合発足 5 周年記念式典を挙行	

年	月	概	要
昭和 61年	8月 11日	山本消防長退任（萩迫助役が消防長事務取扱兼務）	
	10月 1日	野田泰宏第 2 代消防長に就任	
昭和 62年	3月 28日	消防本部、中央消防署庁舎増築・模様替工事（2 階部分 2 6 1 m ² 増築）	
	12月 7日	中央消防署車庫新築（鉄骨スレート葺 7 3 . 9 5 m ² ）	
	12月 15日	福崎勇夫氏（川内市）より救急車の寄贈を受ける	
昭和 63年	3月 9日	救助工作車及び救助資機材一式を購入、中央消防署に配備	
	6月 30日	消防庁長官表彰（表彰旗）	
	9月 6日	松永収入役退任	
	12月	森 卓朗第 2 代収入役に就任	
		市町村負担金分賦割合の変更につき関係市町村と協議	
		全市町村議会議決	
平成 元年	1月 30日	だいわより救急車の寄贈を受ける（川内市へ）	
	2月 2日	東部消防署車庫新築（鉄骨スレート葺 1 7 . 9 2 m ² ）	
	3月 4日	市町村負担金分賦割合の変更許可（県知事）	
	12月 5日	日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける	
平成 2年	3月 31日	野田消防長退任	
	4月 1日	内田耕也第 3 代消防長に就任	
	6月 16日	堀ストアより救急車の寄贈を受ける（川内市へ）	
	10月 24日	南九州開発より梯子車（3 5 m）の寄贈を受ける（川内市へ）	
平成 3年	4月 7日	川内ライオンズクラブより救急車の寄贈を受ける	
	8月 4日	消防組合発足 1 0 周年記念式典を挙行（第 9 回消防フェスティバル同時開催）	
平成 4年	3月 2日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局の貸与を受ける（5 w 1 5 基）	
	3月 26日	中央消防署南部分署新庁舎完成（川内市若松町 8 番 2 0 号）	
	8月	中央・東部・西部各消防署で消防フェスタ開催	
	9月 1日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける	
	10月 1日	中央消防署南部分署に職員 4 人を増置、1 3 人とする	
	11月 1日	大型高所放水車を西部消防署から中央消防署南部分署に配置転換	
平成 5年	3月 20日	中央消防署南部分署に訓練塔建設	
	3月 16日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局（5 w 1 0 基）及び救助資器材等（空気呼吸器 5 基他）の貸与を受ける	
	3月 27日	サンテックより小型船舶（1 . 5 t）の寄贈を受ける	
	9月 20日	市町村負担金分賦割合に関する組合格約変更届出（平成 6 年度負担金から適用）	
平成 6年	2月 15日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局（1 0 w 2 基、5 w 6 基）及び救助資器材等（空気呼吸器 5 基他）の貸与を受ける	

年	月	概	要
平成 6年	4月 1日	通信指令室に河川情報等受信用端末機を設置	
	5月18日	救急救命士誕生, 11月に2人となる	
平成 7年	1月24日	阪神淡路大震災被災地へ職員5人, 車両2台を派遣	～28日
	3月31日	内田消防長退任	
	4月 1日	山口 傳第4代消防長に就任(昇任)	
		条例定数改正 128人 実員 123人	
		川内市のコンピュータ(サーバ)と電話回線により接続された端末機を消防本部総務課に設置, 財務会計のオンライン処理開始	
	5月19日	救急救命士3人となる	
	7月27日	日本損害協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
	8月21日	第1回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)	～23日
	8月25日	森収入役退任	
	8月29日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける	
	8月31日	萩迫助役退任	
	10月 1日	救急救命士の院内研修を川内市医師会立市民病院で実施	
		(10月2人, 11月2人)	
	11月22日	救急救命士4人となる	
平成 8年	1月18日	高規格救急車及び高度救命処置用資機材を購入, 中央消防署に配備	
	3月10日	仁礼管理者退任	
	3月11日	森 卓朗第3代管理者に就任	
	3月15日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基, 5w3基)の貸与を受ける	
	4月 1日	富山新八第3代助役に就任	
		若松隆久第3代収入役に就任	
		高規格救急車等による高度救急業務を開始	
		消防本部警防課の通信指令係を第1通信指令係及び第2通信指令係とする	
	4月 9日	コアガスグループより指令車の寄贈を受ける	
	8月20日	第2回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)	～22日
	10月22日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県菊池郡)	～23日
	12月 2日	救急救命士5人となる	
平成 9年	3月26日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度5強	
	3月31日	山口消防長退任	
	4月 1日	岩切秀雄第5代消防長に就任	
	4月 4日	カコイエレクトロより連絡車(ベスト電器号)の寄贈を受ける	
	5月12日	救急救命士6人となる	
	5月13日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度6弱	
	7月10日	鹿児島県消防相互応援協定に基づき出水市針原地区の土石流災害現場へ職員15人, 車両3台を派遣	～11日

年	月	概	要
平成 9年	8月 20日	日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車（けすゾウくん）の寄贈を受ける	
	10月 7日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（福岡市）～ 8 日	
	11月	救急救命士 7 人となる	
平成 10年	3月 7日	自治体消防制度 50 周年	
	3月 10日	代表電話番号の変更 0996－22－0119	
	4月 1日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）稼働 携帯電話等からの 119 番通報受信開始 女性消防吏員 1 人採用	
	4月 22日	中央消防署梯子車（35 m）分解整備（オーバーホール）～ 9 月 30 日	
	5月 1日	川内地区消防組合潜水隊編成（7 人）	
	5月 12日	救急救命士 8 人となる	
	11月 19日	川内ライオネスクラブより予防指導車（川内ライオネスクラブ号）の寄贈を受ける	
平成 11年	11月 25日	救急救命士 9 人となる	
	2月 24日	東部消防署 高規格救急車等による高度救急業務を開始	
	3月 5日	市町村負担金の支弁方法の改正に伴う県知事への組合規約変更届出（平成 11 年度より適用）	
	4月 1日	消防本部に予防課を新設し 3 課 7 係となる 職員実数 128 人となる	
	4月 9日	消防行政相談日並びに普通救命講習会開催（以降毎月 9 日に定期的に実施）	
	5月 11日	救急救命士 10 人となる	
	5月 20日	第 83 回全国消防長会法制委員会を樋脇町で開催 ～ 21 日	
	10月 19日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎市）～ 20 日	
	11月 10日	救急救命士 11 人となる	
平成 12年	2月 1日	消防本部及び消防署の住居表示変更 原田町 22 番 10 号	
	3月 17日	上・下甕分駐所消防職員待機宿舎を上・下甕に 1 棟ずつ新築し、合わせて 6 世帯確保となる	
	31日	富山助役退任	
	4月 1日	岩切消防長退任 岩切秀雄第 4 代助役に就任 春田廣士第 6 代消防長に就任	
		原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から（エアーテント一式、発電機等 8 式、防護服等 50 式）の貸与を受ける	
	18日	南部分署大型高所放水車分解整備（オーバーホール）～ 9 月 30 日	
	5月 9日	救急救命士 12 人となる	
	10月 23日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加（東京都江東区）～ 24 日	

年	月	概	要
平成 12年	10月 29日	川内ライオンズクラブ（35 周年記念事業）から指揮広報車（川内ライオンズ号）の寄贈を受ける	
	11月 1日	救急救命士 13 人となる	
平成 13年	3月 23日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局（5W5 基）の貸与を受ける	
	10月 2日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（佐賀市）～ 3 日	
	10月 2日	消防組合 20 周年記念式典を挙行（百次町，屋内研修訓練体育施設にて）(株)	
	10月 2日	外園運輸機工より消防指揮車の寄贈を受ける	
平成 14年	3月 31日	春田消防長転任	
	4月 1日	伊豫田輝雄第 7 代消防長に就任	
	5月 13日	救急救命士 14 人となる	
	5月 29日	(有)宝山実業より救急車（赤玉号）の寄贈を受ける	
	6月 28日	(株)おおとり荘より小型貨物自動車の寄贈を受ける	
平成 16年	10月 8日	川内地区消防組合（昭和 56 年 4 月 1 日発足）解散式を挙行（中央消防署車庫にて）	

作 詞 星合節子

作・編曲 吉俣 良

薩摩川内市民歌 ^{かがや}輝 け ^{みらい}未来へ



みどりあふれる 薩摩路に 希望をかざして 日が昇る 豊かな自然に 恵まれて ふれあう市民の あたたかさ ところどころ 通わせて 明日を拓く 薩摩川内

1. みどりあふれる 薩摩路に 希望をかざして 日が昇る 豊かな自然に 恵まれて ふれあう市民の あたたかさ ところどころ 通わせて 明日を拓く 薩摩川内

2. ひかり輝く 甑島 やさしく香る カノコユリ 育む文化や 産業も 歴史と共に 伸びてゆく 世紀 栄える ふるさとの 平和を願う 薩摩川内

3. まちを潤す 川内川 元気でゆこうと 呼びかける こどももおとなも いきいきと 未来へ夢を 翔かす 笑顔 明るく さわやかに 幸せ創る 薩摩川内

薩摩川内市民歌 ^{かがや}輝 け ^{みらい}未来へ

1. みどりあふれる 薩摩路に
希望をかざして 日が昇る
豊かな自然に 恵まれて
ふれあう市民の あたたかさ
ところどころ 通わせて
明日を拓く 薩摩川内
2. ひかり輝く 甑島
やさしく香る カノコユリ
育む文化や 産業も
歴史と共に 伸びてゆく
世紀 栄える ふるさとの
平和を願う 薩摩川内
3. まちを潤す 川内川
元気でゆこうと 呼びかける
こどももおとなも いきいきと
未来へ夢を 翔かす
笑顔 明るく さわやかに
幸せ創る 薩摩川内

平成21年6月10日制定

薩摩川内ブランドロゴマーク



ロゴマークの意味

- 青は 甌の湾や川内川を表現。
研究し見極めようとする「探求する心」を象徴。
- 赤は かのこゆり、ハート(心)を表現。
人や文化を「受け入れる心」を象徴。
- 緑は 薩摩川内市の大自然を表現。
伝統や信念を「守り抜く心」を象徴。
- 黄は 明るい街並や豊かな食を表現。
先んじて「取り組む心」を象徴。

それぞれを円で表現し、この四つが一体となって
薩摩川内人の「心」となるという意味である。

消 防 年 報 平成21年(2009)

発 行／平成22年 7 月

鹿児島県薩摩川内市消防局 消防総務課

〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町22番10号

TEL 0996-22-0119 FAX 0996-20-3430

URL <http://www.city.satsumasendai.kagoshima.jp>